

2022年9月期 第1四半期

決 算 説 明 会 資 料

Knowledge Suite

ナレッジスイート株式会社

証券コード 3999

2022年2月24日



下記URLにて決算説明動画をご確認いただけます。

<https://irp-system.net/presenter/?conts=01fwgkrqa32xfz3yr41vbmjxq9>



The image shows a modern interior space with a large, bright white rectangular area on a wall, framed by a dark border. The wall is made of large, light-colored stone tiles. On either side of the white area, there are dark, vertical wooden slats. In front of the white area, there is a dark, polished wooden table with a yellow square object in the center. The overall atmosphere is clean and professional.

Knowledge Suite

- I. 2022年9月期第1四半期 業績**
- II. 2022年9月期 業績予想**
- III. 会社概要**
- IV. 中期経営計画2024**

INDEX



- I. 2022年9月期第1四半期 業績**
- II. 2022年9月期 業績予想
- III. 会社概要
- IV. 中期経営計画2024
- V. APPENDIX



連結売上収益

784百万円

YoY **+40.1%**

営業利益

56百万円

営業利益率 **7.2%**

DXセグメント売上収益

348百万円

YoY **+70.0%**

SaaS ARR^{*1}

769百万円 *

YoY **+37.4%**

* OEM及びグループ会社の提供サービスである
「InCircle」および「B Suite」は含まれておりません

	売上収益	営業利益
通期計画	3,157百万円	117百万～ 136百万円
1Q実績	784百万円	56百万円

*1 Annual Recurring Revenue : 年次経常収益。当社SaaS（Knowledge Suite）における各四半期末時点のMRRの12倍で算出。



連結売上収益はDX事業の伸長により**YoY+40.1%増加**
営業利益は前4Qの黒字転換から継続して**黒字着地**

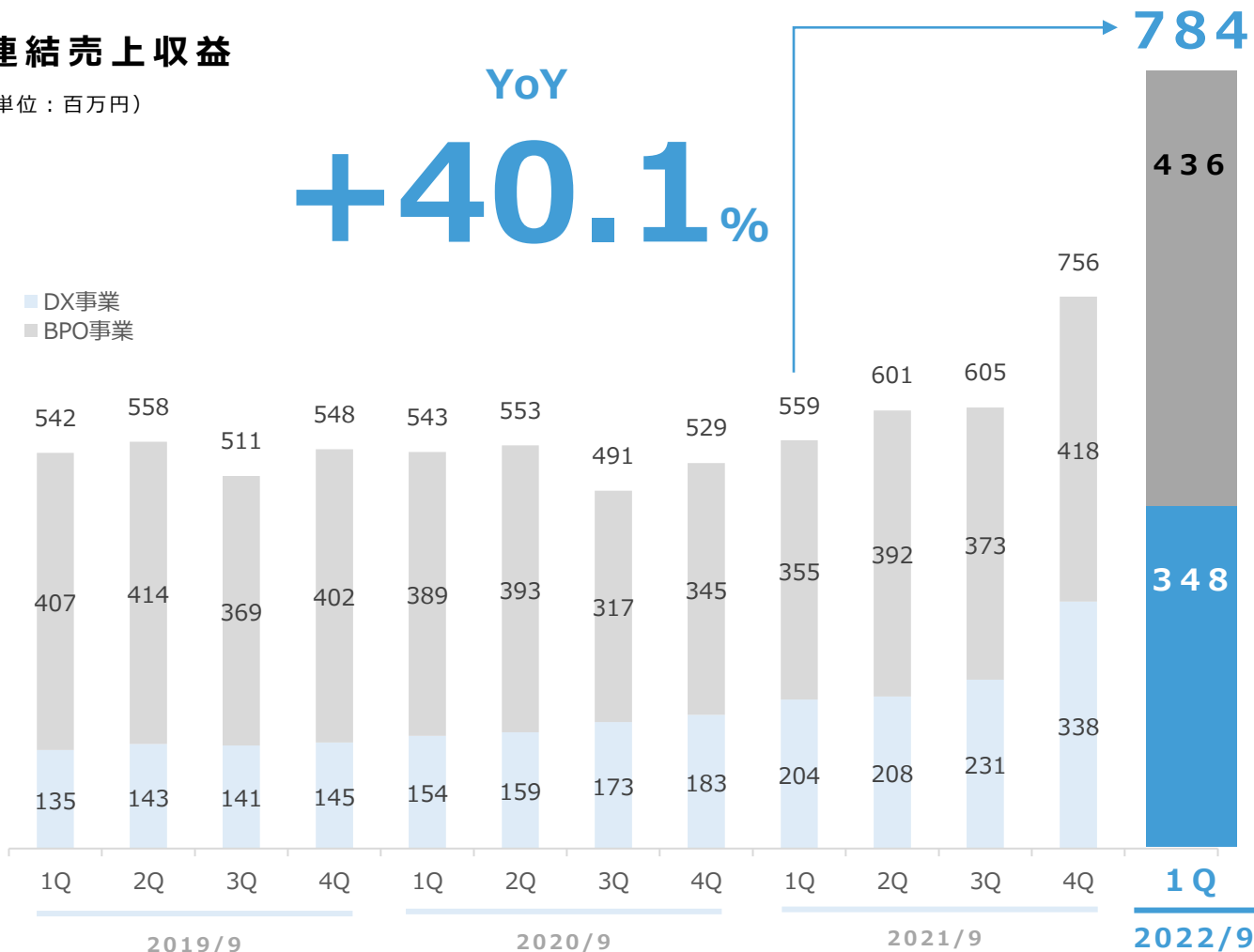
連結IFRS	2021/9期 1Q実績	2022年9月期		
		1Q実績	YoY増減率	YoY増減額
売上収益	559 百万円	784 百万円	+40.1 %	+224 百万円
DX	204 百万円	348 百万円	+70.0 %	+143 百万円
BPO	354 百万円	436 百万円	+22.8 %	+80 百万円
売上総利益	207 百万円	334 百万円	+61.7 %	+127 百万円
利益率	37 %	42.7 %	—	—
営業利益	△78 百万円	56 百万円	— %	+135 百万円
利益率	— %	7.2 %	—	—
税引前利益	△80 百万円	52 百万円	— %	+133 百万円
利益率	— %	— %	—	—
当期利益	△79 百万円	33 百万円	— %	+113 百万円
利益率	— %	— %	—	—



DX事業の「Knowledge Suite」をはじめとしたSaaS（サブスク）の伸長が寄与し **YoY +40.1%** と大幅に成長

連結売上収益

（単位：百万円）

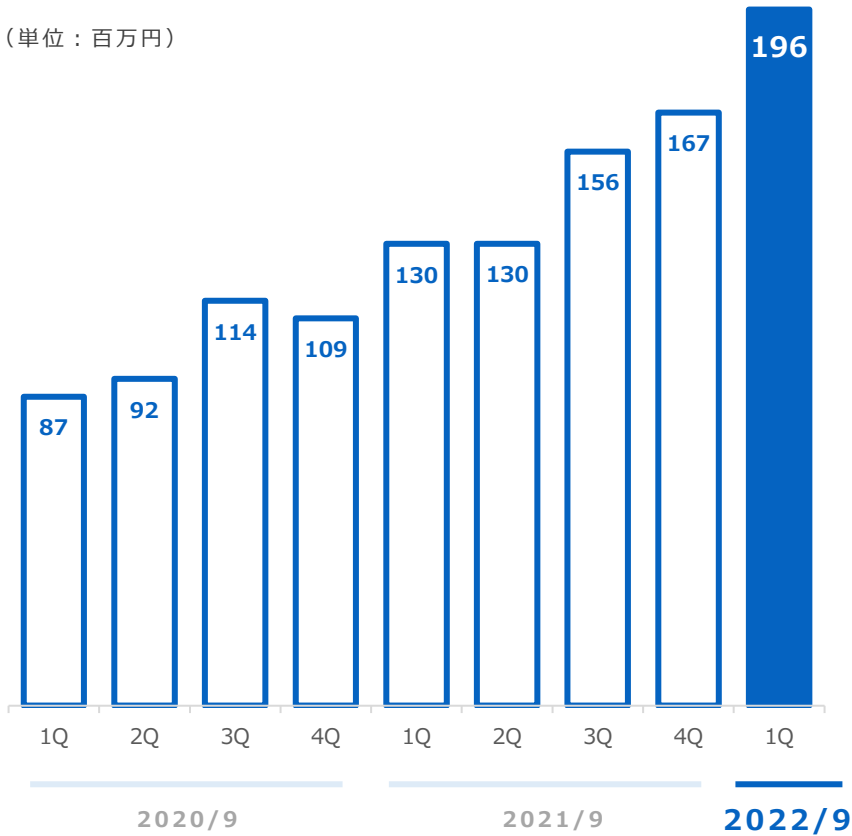




人件費は、営業人員をはじめ**人材採用の先行投資**により大きく増加
広告宣伝費は、見込み顧客獲得の**効率化を進めつつ投資を実施し大幅に削減**

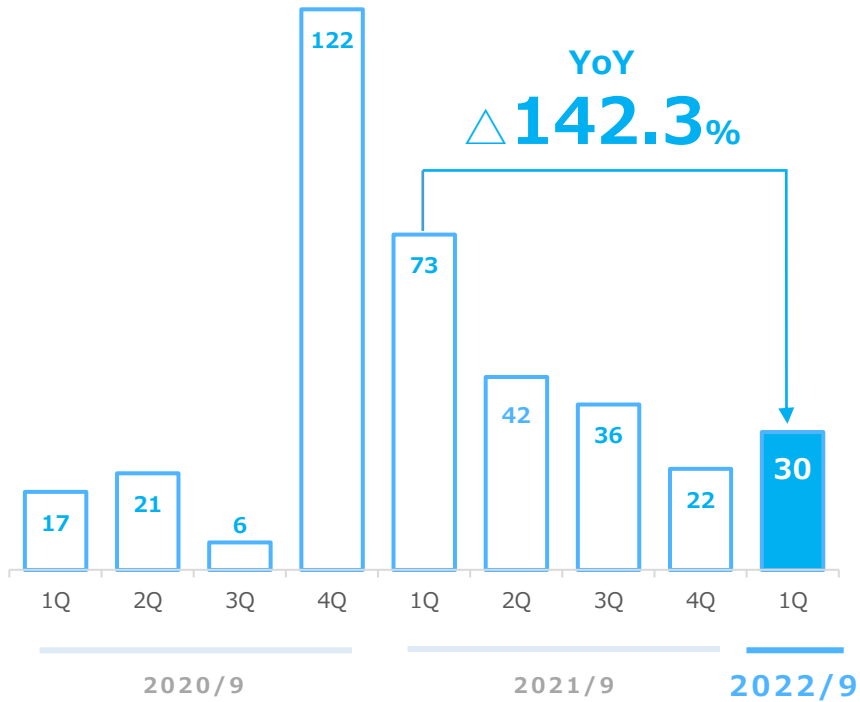
人件費 ※原価は除く

(単位：百万円)



広告宣伝費

(単位：百万円)

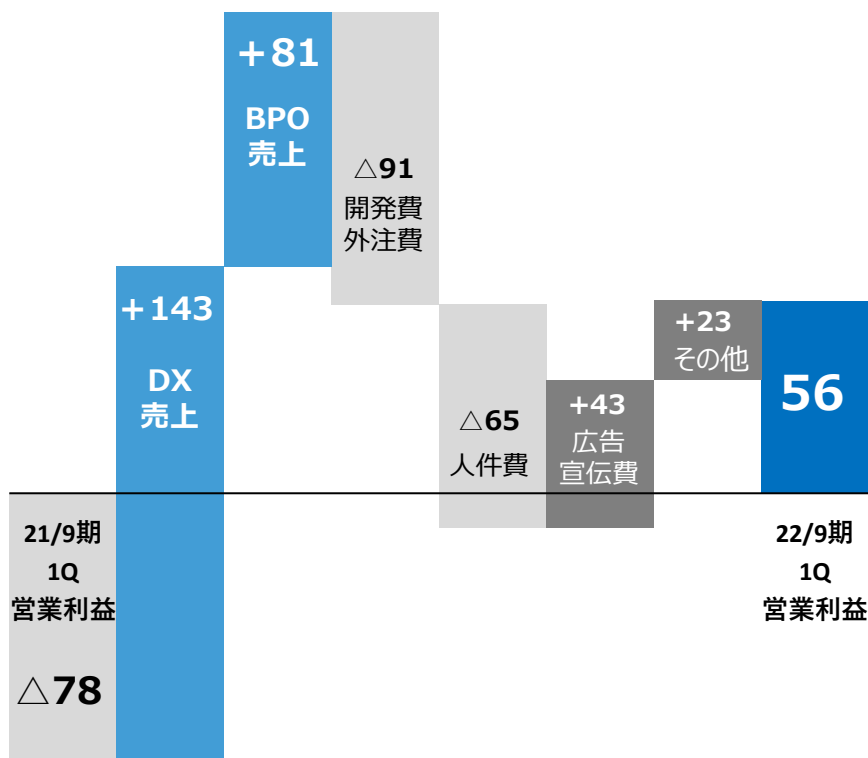




営業利益は前年同期比で134百万円増加し、56百万円と**黒字へ転換**

営業利益増減※前年同期比

(単位：百万円)



- ・ 営業育成強化による
DX事業売上収益の増加
- ・ 次世代「Knowledge Suite」
開発による開発原価の増加
- ・ 人員採用による人件費の増加
- ・ マーケティング施策の選択と集中による
コスト効率化により広告宣伝費の減少
- ・ 投資有価証券売却益による
その他の収益が増加



連結貸借対照表 2022年9月期第1四半期

(単位：百万円)

連結 IFRS	2021/9	2022/9 1Q	増減額
流動資産	1,133	1,469	+335
現金・預金	678	999	+320
営業債権及びその他の債権	382	398	+16
その他	72	71	△1
非流動資産	2,137	2,097	△39
使用権資産	300	269	△31
のれん	725	725	0
無形資産	735	809	+74
その他の金融資産	201	120	△80
繰延税金資産	118	119	0
その他	82	53	△29
資産合計	3,271	3,566	+295

連結 IFRS	2021/9	2022/9 1Q	増減額
流動負債	1,262	1,299	+36
営業債務及びその他の債務	164	171	+7
有利子負債	749	798	+49
その他	348	328	△19
非流動負債	1,105	1,326	+221
有利子負債	909	1,155	+245
その他	195	171	△23
資本	903	940	+36
資本金	700	700	0
資本剰余金	644	648	+3
利益剰余金	△447	△413	+33
負債及び資本合計	3,271	3,566	+295

親会社所有者帰属持分
比率

27.6%

26.4%



東証市場再編に伴い新市場区分「グロース市場」を選択 将来的なプライム市場への移行を目指す

グロース市場^{*1}の上場維持基準と当社数値^{*2}

項目	上場維持基準	当社数値
時価総額	上場から10年経過後 40億円以上	41.4億
株主数	150人以上	1,499名
流通株式数	1,000単位以上	16,216単位
流通株式時価総額	5億円以上	13.6億
流通株式比率	25%以上	31.7%

^{*1} 東京証券取引所における市場区分のうち「マザーズ」と「JASDAQグロース」を集約し、2022年4月4日より移行・発足する高い成長可能性を有する新興企業向けの新市場。高い成長可能性を実現するための事業計画及びその進捗の適時・適切な開示が求められる

^{*2} 時価総額は2021年9月末、株主数は2021年9月末時点。それ以外の項目は2021年7月9日に受領した「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」に記載されている移行基準日（6月30日）時点の数値



機関投資家様と個人投資家様との情報格差をなくすべく、
弊社代表取締役社長の稲葉が個人投資家様向けにTwitter・noteによる
情報を配信開始



稲葉 雄一

@ナレッジスイート 代表取締役社長



稲葉 雄一

@ナレッジスイート 代表取締役社長



<https://ksj.co.jp/ir/>



DX事業のSaaS主要KPI月次進捗のレポートを開始

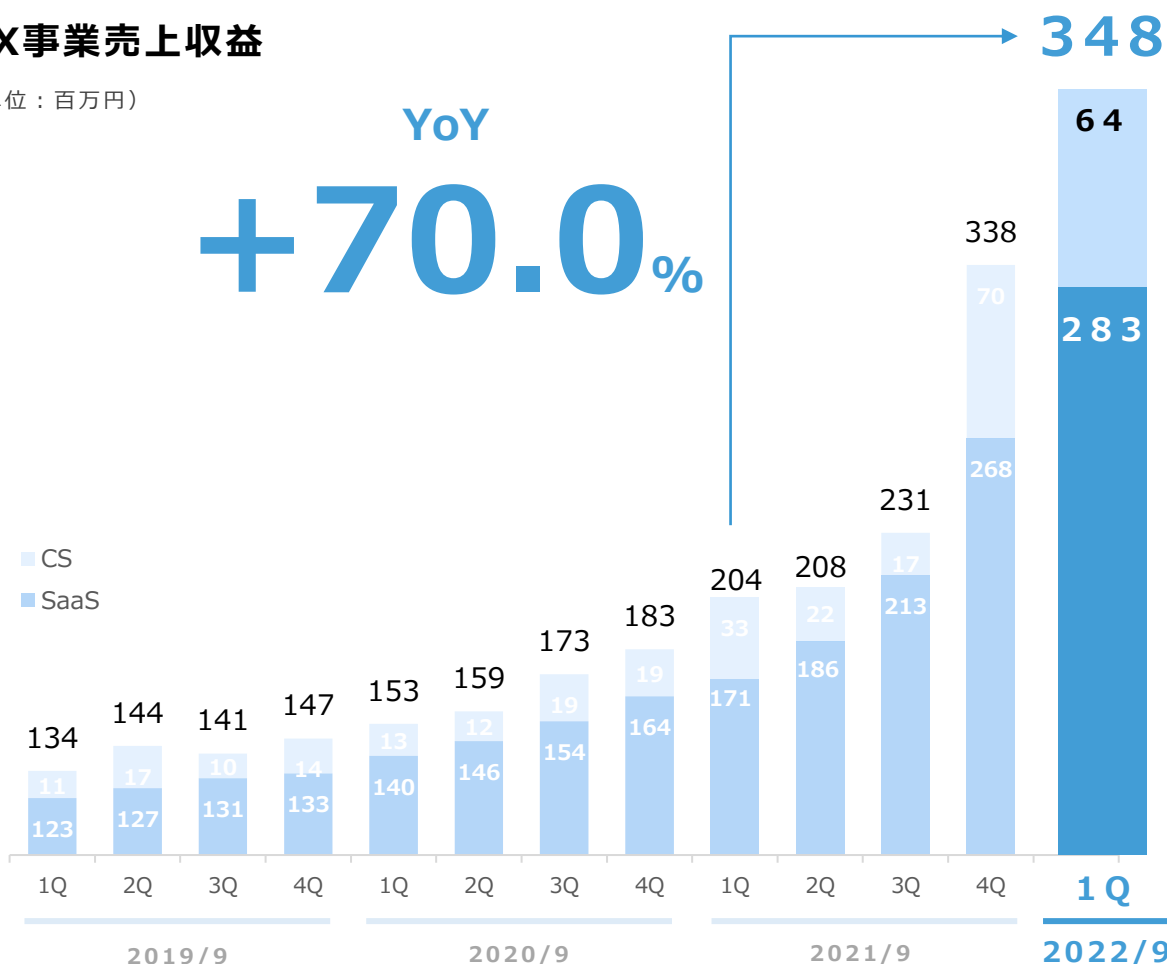


OEM及びグループ会社の提供サービスである「InCircle」、「B Suite」を除く
SaaSの「New MRR」「契約件数」「受注額残高」の進捗レポートを月次で配信。
その他IR情報も積極的に配信していきます。

引き続き「Knowledge Suite」SaaS（サブスク）が順調に積み上がり
YoY + 70.0%* と大幅に伸長

DX事業売上収益

（単位：百万円）

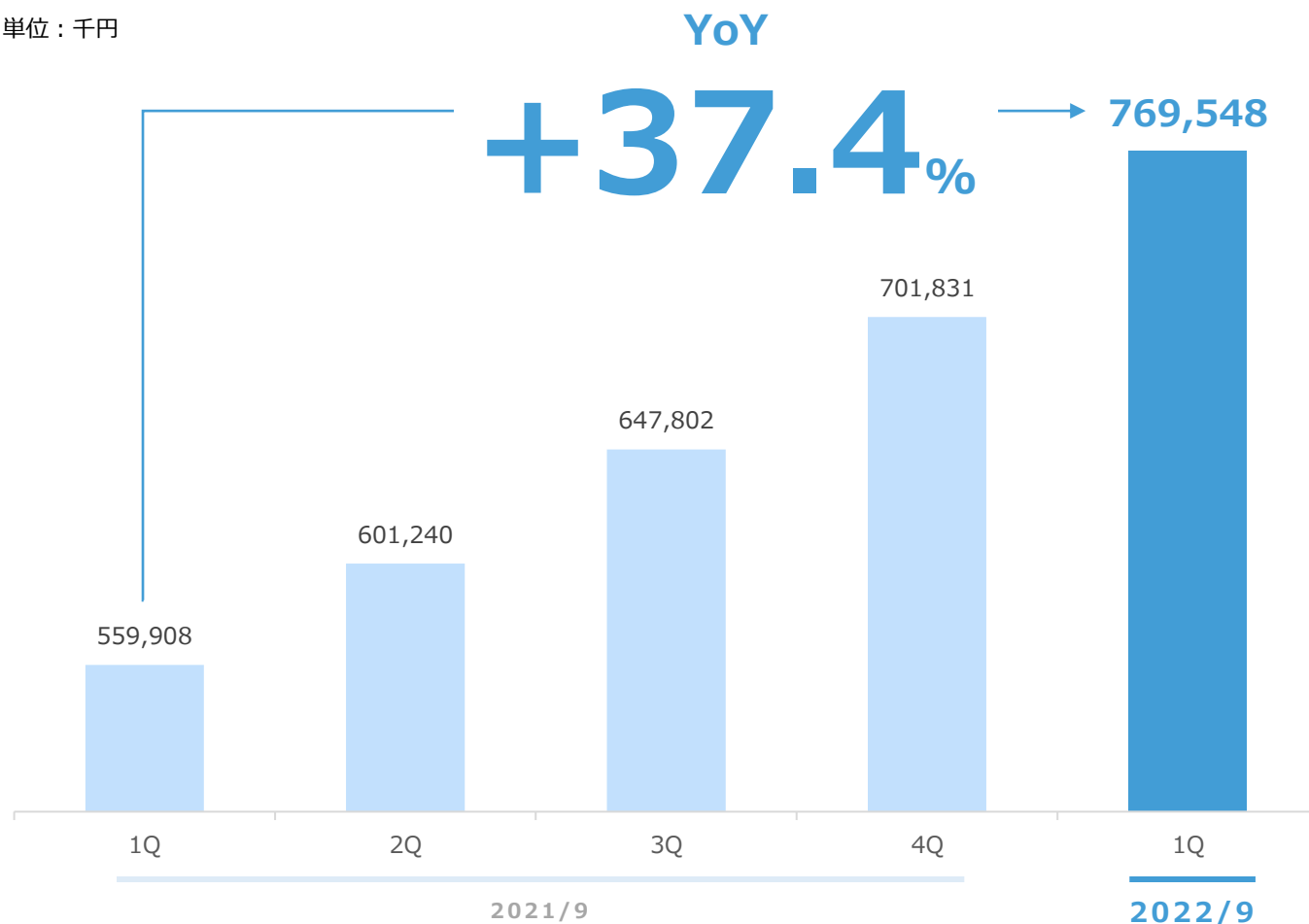


* DX事業売上収益には前四半期よりグループ会社が提供するビジネスチャットサービス「InCicle」及びBtoBマーケティングデータサービス「B Suite」売上が含まれています。

Knowledge SuiteのARRはYoY+37.4%と大幅に増加

Knowledge Suite ARR_{*1}

単位：千円



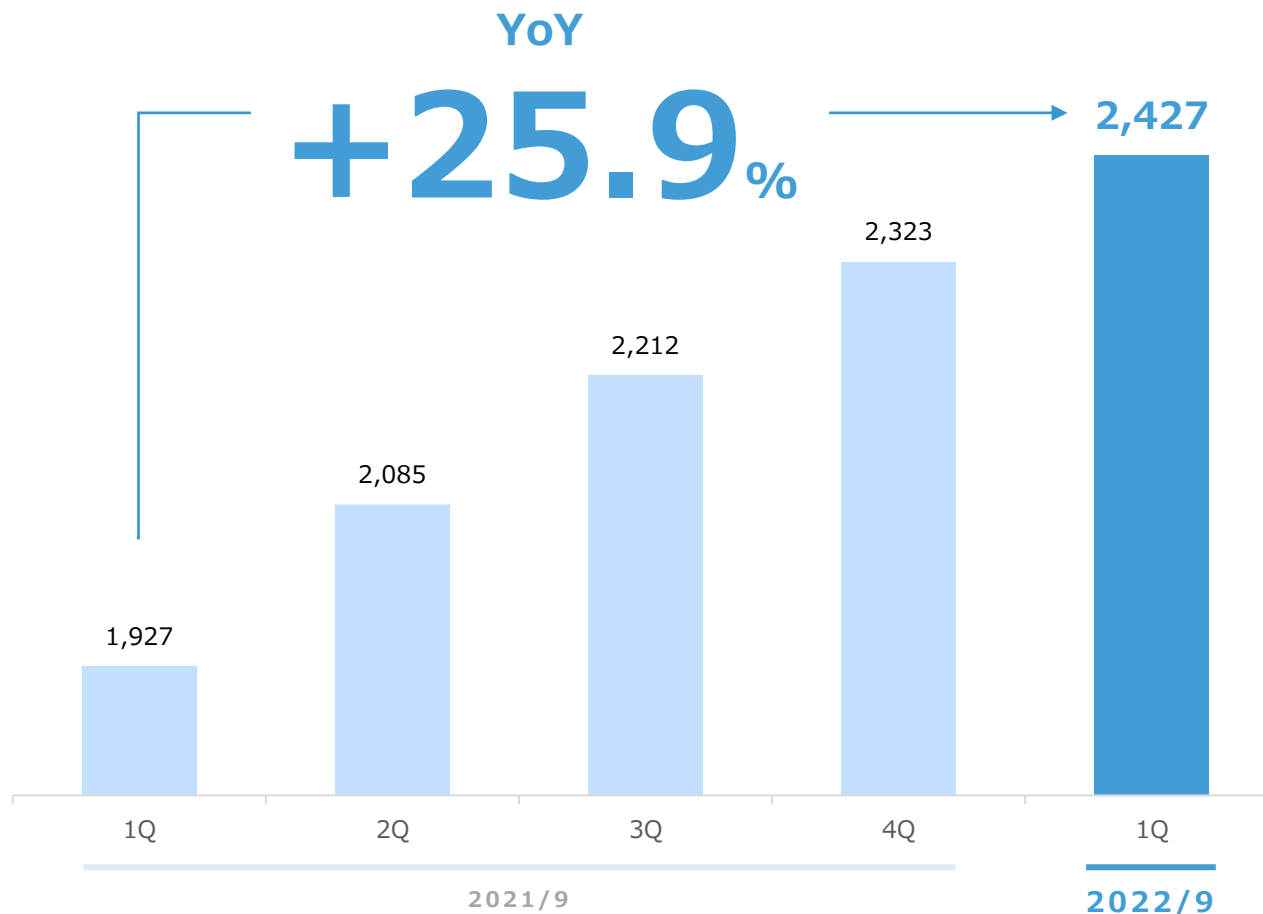
* OEM及びグループ会社の提供サービスである「InCircle」および「B Suite」は含まれておりません

*1 Annual Recurring Revenue : 年次経常収益。当社SaaS (Knowledge Suite) における各四半期末時点のMRRの12倍で算出。

Knowledge Suiteの契約企業件数は**YoY + 25.9%**と順調に増加

Knowledge Suite 契約企業件数*

単位：件

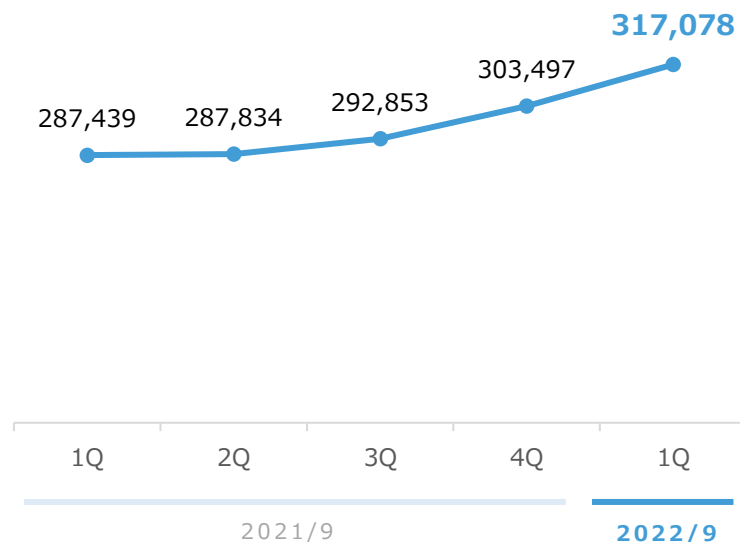


* OEM及びグループ会社の提供サービスである「InCircle」および「B Suite」は含まれておりません

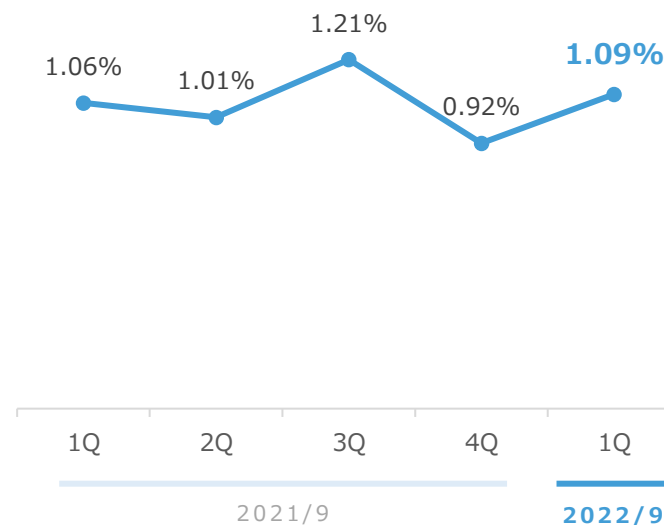
営業人員の成長にともなうサブスク（SaaS）単価の上昇により、ARPAは堅調に増加基調で推移。
ChurnRate(解約率)は水準を維持しつつ、利用継続を促進するCS活動の取組みを開始

Knowledge Suite ARPA^{*1}

単位：円



Knowledge Suite Churn Rate^{*2}



* OEM及びグループ会社の提供サービスである「InCircle」および「B Suite」は含まれておりません

^{*1} ARPA : Average Revenue Per Account 1契約企業あたりの平均年次経常収益。当社SaaSにおける各四半期末時点のARRを契約企業数で除して算出。

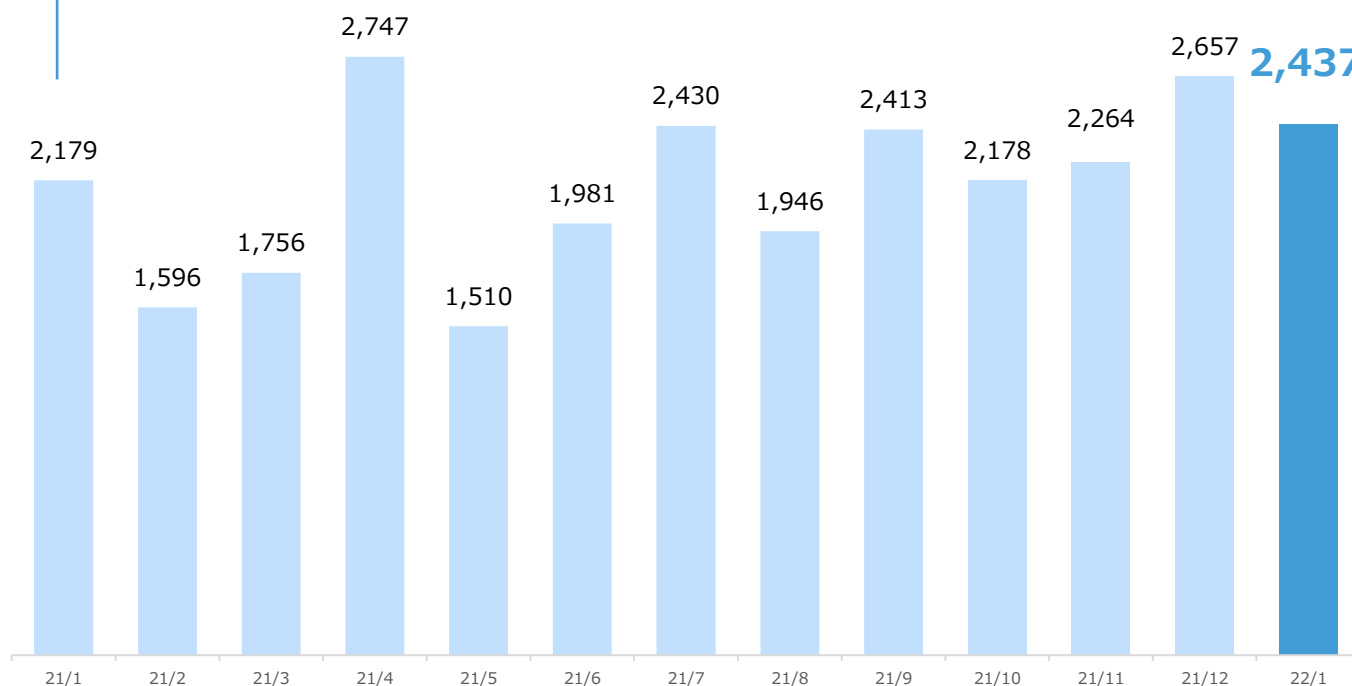
^{*2} Churn Rate : 解約率。MRR基準の月次平均解約率。当該月のChurn MRR÷前月末のMRR。各四半期3か月平均で算出。

Knowledge Suite NewMRR^{*1}

単位：千円

YoY

+11.8%



* OEM及びグループ会社の提供サービスである「InCircle」および「B Suite」は含まれておりません

*1 NewMRR：新規顧客から得られたMRR。MRR：Monthly Recurring Revenueの略。月間経常収益。

Knowledge Suite 契約企業件数*

単位：千円



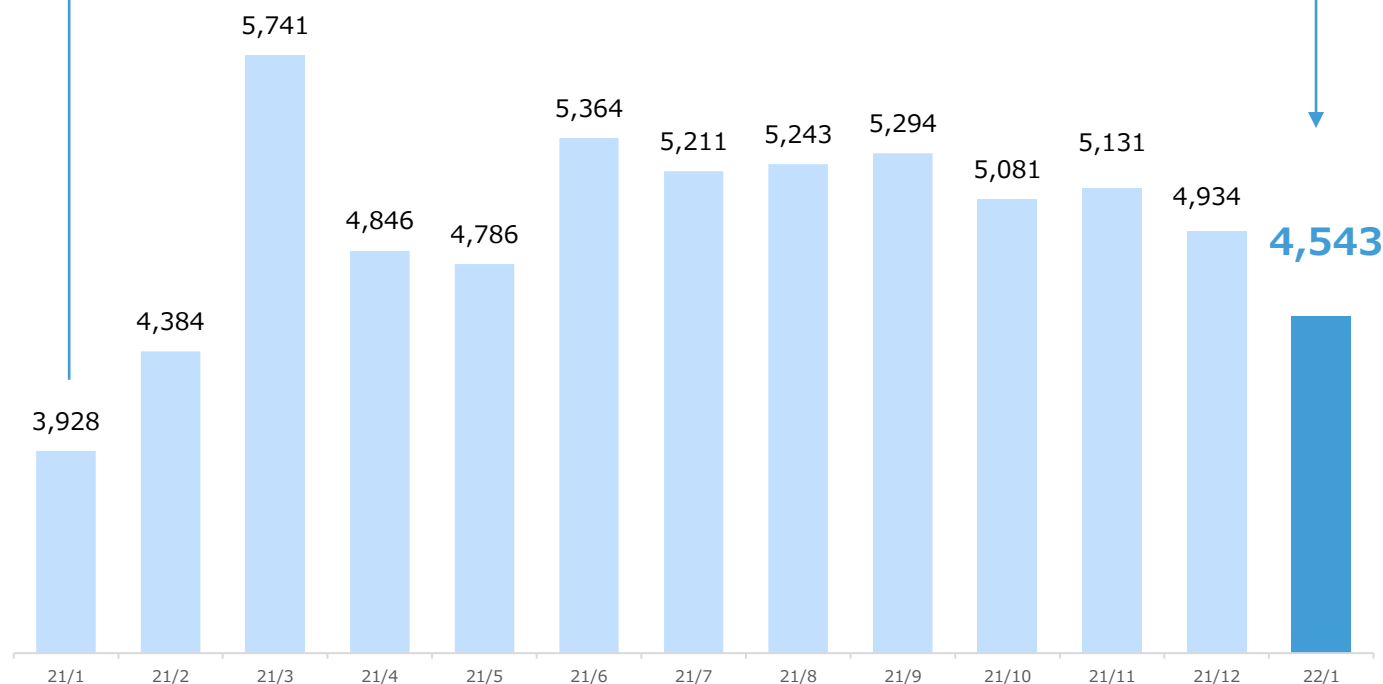
* OEM及びグループ会社の提供サービスである「InCircle」および「B Suite」は含まれておりません

Knowledge Suite 受注額残高^{*1}

単位：千円

YoY

+15.6%



* OEM及びグループ会社の提供サービスである「InCircle」および「B Suite」は含まれておりません

^{*1} 受注額残高：過去の新規受注契約のうち翌月以降有料課金開始される契約のSaaS利用額（月額換算）の当月末時点の残高。（当SaaSは初期導入支援等の完了した時点で有料課金開始となる）

SaaS主要KPI 2021年10月～2022年9月

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
New MRR (千円)	2,183	2,224	2,657	2,437								
YoY	+39.0%	+28.2%	+42.9%	+11.8%								
契約件数 (件)	2,348	2,389	2,427	2,444								
YoY	+25.4%	+24.8%	+25.9%	+22.5%								
受注額残高 (千円)	5,081	5,131	4,934	4,543								
YoY	+31.9%	+17.6%	+13.3%	+15.6%								

参考) 2020年10月～2021年9月

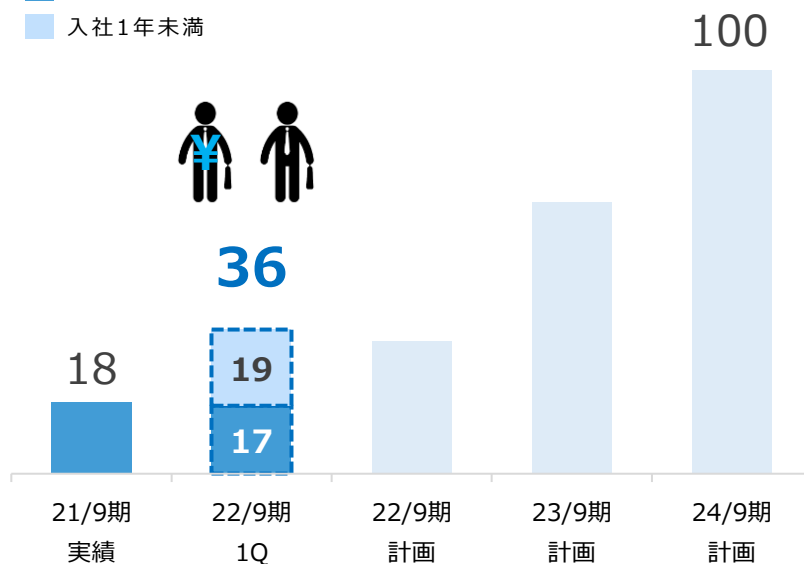
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
New MRR (千円)	1,571	1,735	1,859	2,179	1,596	1,756	2,747	1,510	1,981	2,430	1,946	2,413
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
契約件数 (件)	1,873	1,915	1,927	1,995	2,018	2,085	2,160	2,185	2,212	2,260	2,280	2,323
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
受注額残高 (千円)	3,852	4,363	4,354	3,928	4,384	5,741	4,846	4,786	5,364	5,211	5,243	5,294
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

DX事業営業人員*100名体制（24年9月期まで）に向け、**順調に推移**
連結従業員数は227名

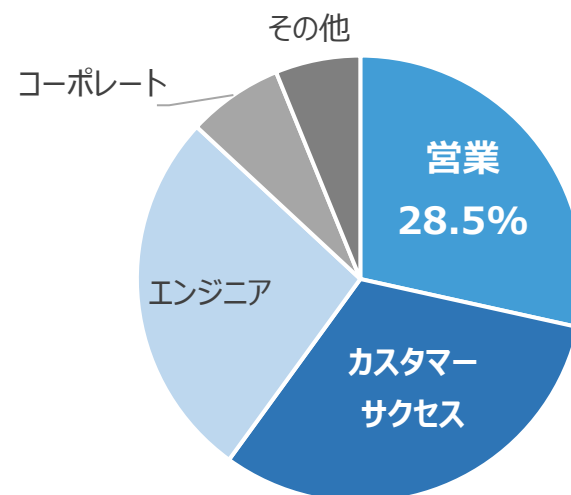
DX事業 営業人員数

（単位：人）

- 入社2年目以降
- 入社1年未満



営業人員比率 ※ナレッジスイート単体



* DX事業営業は当社で約1年の営業教育・営業活動経験を積むことで（当社新卒営業は、11か月の教育期間を経て、）1人あたりの売上平均値を獲得するようになる。
新卒採用を開始した2014年から2021年9月末現在まで7年間の当社新卒営業社員のトラッキングコードより算出。

「ITreview Grid Award 2022 Winter」の8部門にて受賞



『Knowledge Suite（名刺管理・SFA/CRM統合型SaaSビジネスアプリケーション）』、
『VCRM（クラウド型オンライン商談・会議ツール）』及び『InCircle（ビジネスチャット）』が、8部門で受賞。
またSFA・CRM・名刺管理・Web 面接部門の4部門では、市場の認知度が高く、
顧客からの満足度も非常に高いサービスとして「Leader」を受賞

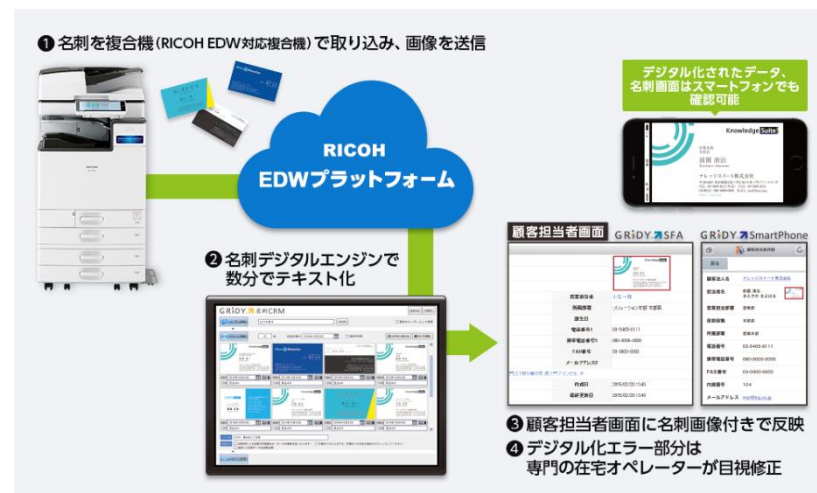
梅酒造りのパイオニア チョーヤ梅酒株式会社様が
純国産SFA/CRM統合型SaaSビジネスアプリケーション『Knowledge Suite』を導入

とどけ、梅のちから。
CHOYA

法人向け営業活動の情報資産化・可視化による顧客満足の向上、
営業活動の効率化による生産性向上を目的に『Knowledge Suite』の中心機
能である営業支援ツール SFA の導入決定

リコージャパン株式会社との協業を開始

RICOH



中堅・中小企業のDX化の推進を目的に、
コロナ禍の影響で様変わりした営業活動の活性化・売上拡大を支えるべく『Knowledge Suite』の
全国拡販を開始。リコージャパン様が提供する複合機とEDW連携による名刺一括取込みサービス
「EDWプラットフォーム」も含め、引き続きお客様情報の一元化を営業支援システムに集約し
業務の効率化・標準化を推進

オンライン商談予約 with VCRMをクラウド型オンライン商談ツール「VCRM (ブイシーアールエム)」と連携開始



オンライン商談予約

with VCRM

お客様



① HP上のカレンダーから
商談希望日時を予約する

④ 商談URLが記載された
メールが自動送信される

オンライン商談予約with VCRM



② 予約通知が届く



③ 予約日時に対応する
営業担当者情報を入力し
予約を確定する

営業担当



簡単＆低コストな商談予約カレンダーで、もっと快適なオンライン商談を実現
今後ZOOM・Teamsなどのオンライン会議ツールとも連携を予定

次世代型企業Webデータベース『Beegleデータ』がWorkato社・クラウドサーカス社の提供サービスとの連携を開始

BtoB マーケティングの
ネットビジネスサポート

NBS

 **workato**

 **CloudCIRCUS**

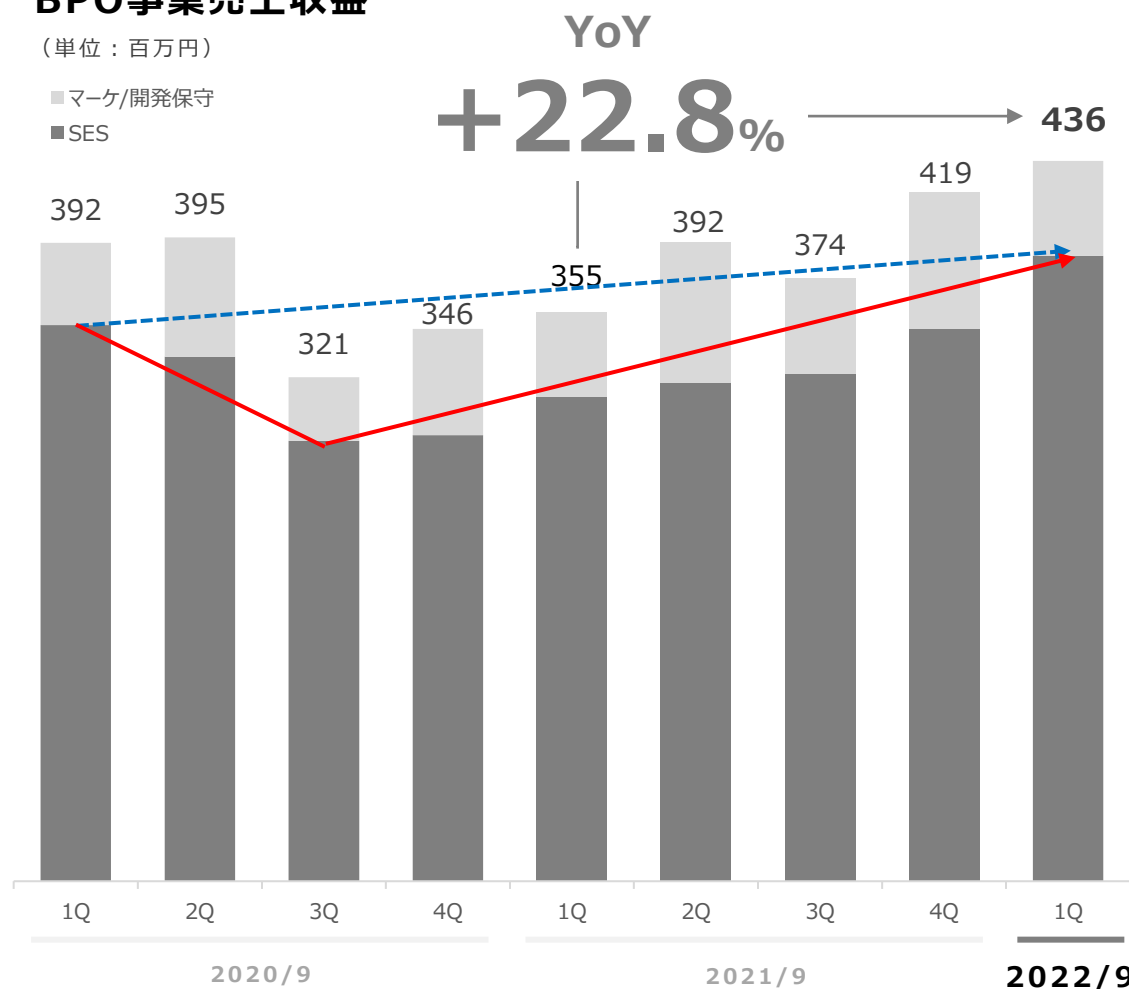
SFA、CRM、MA上の日本企業データの名寄せ、追加情報付与の自動化を実現

ITエンジニア派遣のSESが前四半期からコロナ禍前の業績水準へ回復し、
BPO事業の売上収益は**YoY + 22.8%**と**成長基調に推移**

BPO事業売上収益

(単位：百万円)

■ マーケ/開発保守
■ SES



SESではコロナ禍前の成長基調にもどり、売上収益が伸長

マーケ/開発保守は前四半期の一次的な売上増加分が減少し、堅調に推移



- I. 2022年9月期第1四半期 業績
- II. 2022年9月期 業績予想
- III. 会社概要
- IV. 中期経営計画2024
- V. APPENDIX



DX事業のSaaS（サブスク）売上収益・営業利益は、ともに**1Q実績が4Qまで継続して積み上がる収益モデル**であり、今期計画に対して好調なスタート

連結IFRS	2022年9月期	
	1Q実績	通期計画
売上収益	784 百万円	3,157 百万円
DX	348 百万円	1,518 百万円
BPO	436 百万円	1,638 百万円
		117 ~
営業利益	56 百万円	136 百万円
利益率		3.7 ~
	7.2 %	4.3 %



① 事業の収益（シェア）拡大

契約件数の拡大

営業100名体制の実現

契約あたりの売上単価拡大

カスタマーサクセス体制の整備



- ・計画どおりDX営業人員の採用を実施。売上平均値の獲得へ向け教育・育成を進行
Knowledge Suite契約企業件数はYoY+25.9%
- ・カスタマーサクセス体制強化を進め、既存ユーザー企業へのCS活動を開始
Knowledge Suite ARPAも増加基調に推移

② プロダクト・サービス強化

契約継続率の向上

新規プロダクトの開発/M&Aによるサービス拡充



- ・今期中に一部新規サービスを徐々にリリース開始すべく**プロダクト開発を進行中**



- I. 2022年9月期第1四半期 業績
- II. 2022年9月期 業績予想
- III. 会社概要**
- IV. 中期経営計画2024
- V. APPENDIX



Knowledge Suite

ナレッジスイート株式会社

代表者	代表取締役社長 稲葉 雄一
設立	2006年10月
本社所在地	東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー38階
DXセンター	東京都港区虎ノ門3-18-19 UD神谷町ビル7階
中部営業所	愛知県名古屋市中村区名駅4-24-16 広小路ガーデンアベニュー3階
関西営業所	大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル3階
九州営業所	福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル6階
資本金	700,501,800円（2021年9月末時点）
従業員数	連結：228名（2021年9月末時点）
事業内容	DX事業 BPO事業
認証	プライバシーマーク認証 JIS Q 15001:2017 認証登録番号：10822852 ISMS認証 JIS Q 27001:2014（ISO/IMC 27001:2013） 認証登録番号：JUSE-IR-154
グループ	株式会社アーキテクトコア 株式会社DXクラウド ネットビジネスサポート株式会社



中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献

Change The Business

日本の総企業数の99.7%は中小企業。

つまり、中小企業の稼ぐ力が

もっと向上すれば、
日本経済は大きく成長します。

ナレッジスイートは、
中小企業のそれぞれの
市場環境、経営環境に柔軟に対応し、
ユーザーファーストの姿勢で
稼ぐ力につなげるサービスを提供。
日本経済の活性化に貢献します。



脳力をフル活用できる世界へ。



人が足りないと言われる時代、
社員の貴重な脳をフル活用できていますか。
たとえば、処理能力の高い営業社員の脳。
見込み顧客管理や予実管理に割いている時間を、
顧客開拓、既存顧客との関係構築、新規事業開発に使うことができれば、
どれだけビジネスを拡大することができるでしょうか。
人間の脳にしかできないこと「脳力」を、
本当にしたいこと、すべきことに100%活用していく。
そのための武器を、ナレッジスイートは提供していきます。
テクノロジーに任せられることは日ごとに増えています。
様々なツールが営業効率を上げてくれるようになっています。
人手の足りない中小企業。個性豊かな社員の脳力を、
テクノロジーで解決できることに使っていない。
人間しかできないもっとクリエイティブでイノベティブな仕事と、
効率的に営業をサポートするテクノロジーが掛け合わさるとき、
企業も社員も成長軌道に乗るはずです。
テクノロジーによる自動化で、人間の脳力をフル活用できる世界へ。
ナレッジスイートの「脳力」が実現していく未来です。



代表取締役社長

稲葉 雄一



取締役副社長 執行役員

飯岡 晃樹

DX営業本部管掌



専務取締役 執行役員

岡原 達也

カスタマーサクセス本部管掌



常務取締役 執行役員

柳沢 貴志

コーポレート本部管掌



取締役 執行役員

雄川 賢一

プロダクト開発本部管掌



執行役員 **江戸 純哉**

カスタマーサクセス本部長



執行役員 **佐藤 幸恵**

コーポレート本部長 公認会計士



社外取締役 監査等委員 伊香賀 照宏

独立役員 公認会計士/税理士



社外取締役 監査等委員 和田 信雄

独立役員 大手IT企業事業部門責任者/経営者歴任



社外取締役 監査等委員 三浦 謙吾

独立役員 弁護士



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、持続可能な世界を実現するため、17のゴール・169のターゲットから構成され、2030年までに地球上の誰一人として取り残さないことを誓った国際目標。

ナレッジスイートグループでは、持続可能な世界の実現に向けて『環境』『社会貢献』『ガバナンス』の3つのテーマに積極的に取り組み行動していきます。



環境への取り組み (環境はの負荷低減を支援し持続可能なソリューション実現を目指す)

●ペーパーレスの推進

会議や商談ではタブレット等を活用し、会議・営業資料を紙で印刷することを極力禁止しています。資源削減すること、温室ガスの削減に貢献しています。

●クールビズ、ウォームビズ

空調エネルギー使用を削減するために、社内事務所の室温設定を夏期・冬期それぞれで設定し、クールビズおよびウォームビズを実施しています。



E

S

G



より良い社会づくりのために

●中小企業の働き方改革の推進

当社は、日本の社会問題である人手不足、生産性の向上やテレワーク推進等といった課題を解決し、働き方改革を支援するサービスを提供しています。
常にユーザーファーストの姿勢で、お客様が必要とする製品の開発・改良、提供を行い、運用サポート等のサービスを通じて日本経済を支える中小企業の働き方改革の実現を支援してまいります。

●働きやすい環境づくり

社員1人ひとりが最大限に「脳力」を発揮できるように各種教育・研修制度、フレックスタイム制の導入やテレワークの推進、また女性の出産・育児等のライフステージに合わせた柔軟なワークスタイルの実現等、働きやすい環境づくりに努めています。

ガバナンスの強化

●コーポレートガバナンス

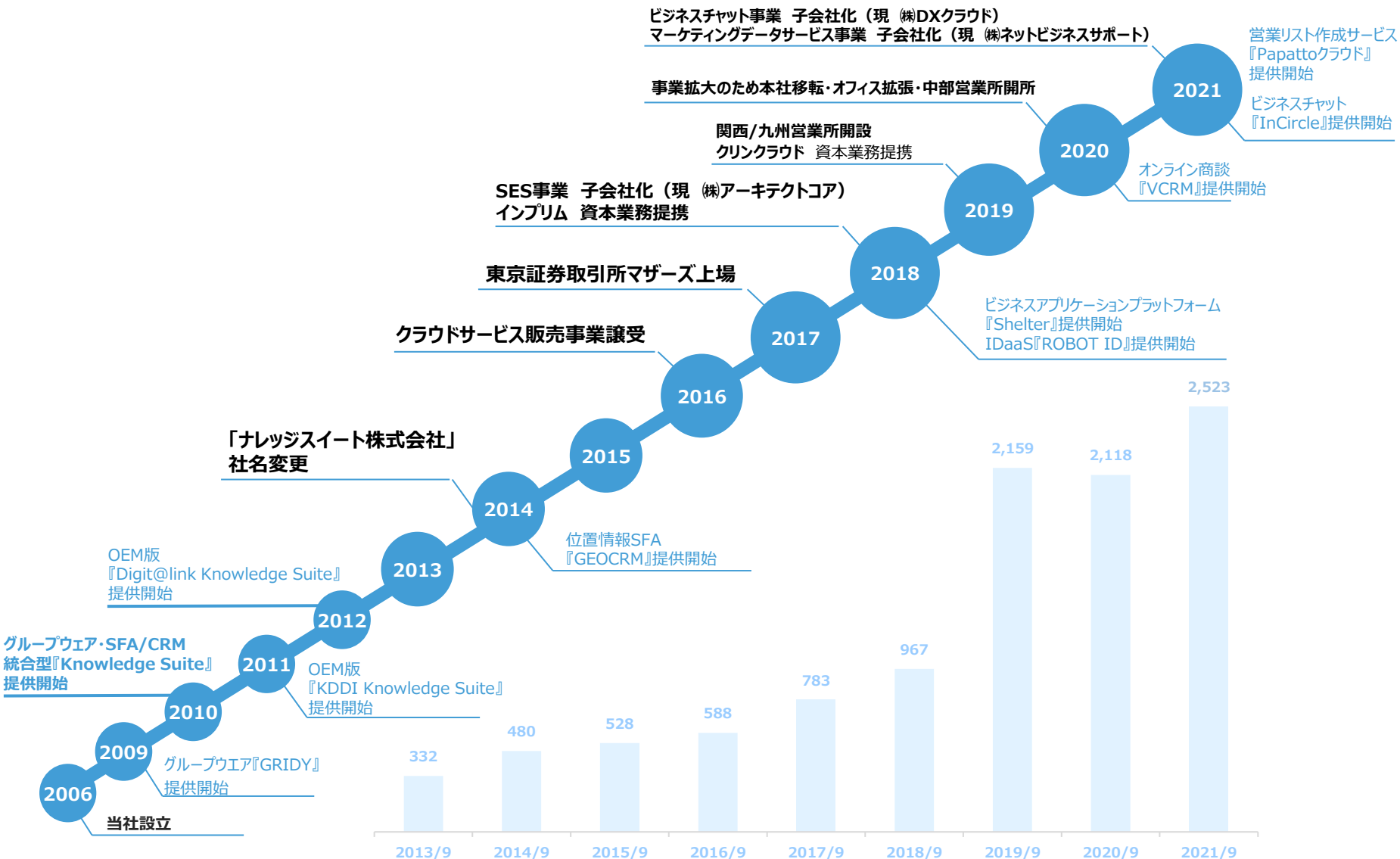
コーポレートガバナンスコードを指標とし、将来的に持続可能な社会を構築できる企業を目指します。また、コンプライアンス規程の制定・徹底を行い、社員教育の実施やグループ会社との連携も強化していきます。

●コンプライアンスの強化

ナレッジスイートグループは、あらゆる活動の局面において関連する法令・条例・契約・社内規定等の社会ルールを遵守し、コンプライアンスの徹底を図っています。また、従業員全員に社会良識に基づき行動するよう「就業規則」、「コンプライアンス規程」を定め、コンプライアンスマニュアルで具体的に説明するとともに、研修や意識啓発を通じて周知徹底しております。

●情報セキュリティ強化とプライバシーの保護

情報セキュリティ活動の方針として、年一回の社内研修を実施し社員へ徹底して周知しています。





中小企業のDX化を推進するDX事業を軸とした事業展開

DX（デジタルトランスフォーメーション）事業

SaaS*₁

主力SaaSのグループウェア及びSFA/CRM統合型ビジネスアプリケーション『Knowledge Suite』をはじめ、SaaSによるDX支援

CS*₂ カスタマーサクセス

SaaSの導入コンサルティング、環境設計・構築、運用・定着支援および機能開発支援

Knowledge Suite

.DXcloud

BlotB マーケティングの
ネットビジネスサポート
NBS

BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）事業

SES*₃

システムエンジニアリングサービス

クラウドやAI、IoT、ビッグデータなどのWEBアプリケーション技術を習得した高度IT人材(システムエンジニアリングサービス)の提供

ArchitectCORE

マーケティング/保守

企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの保守。

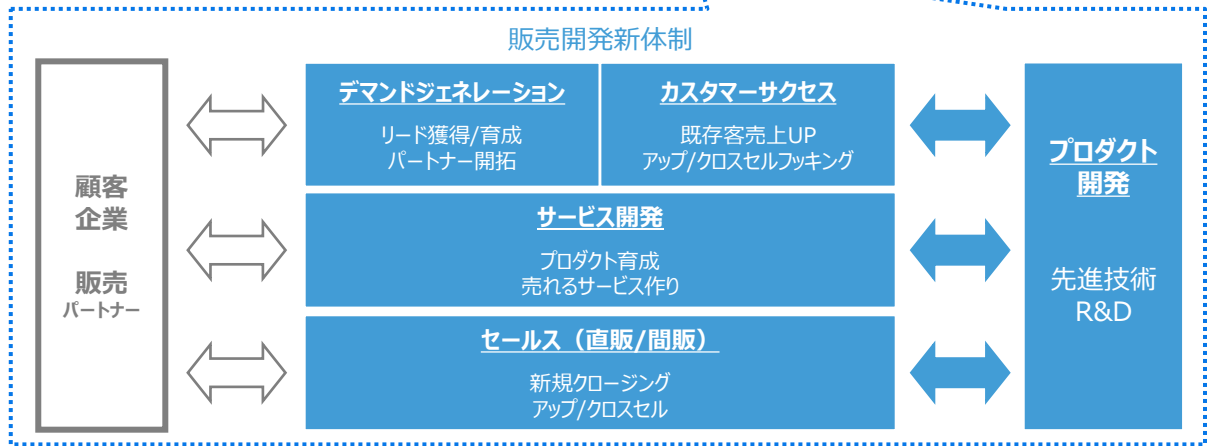
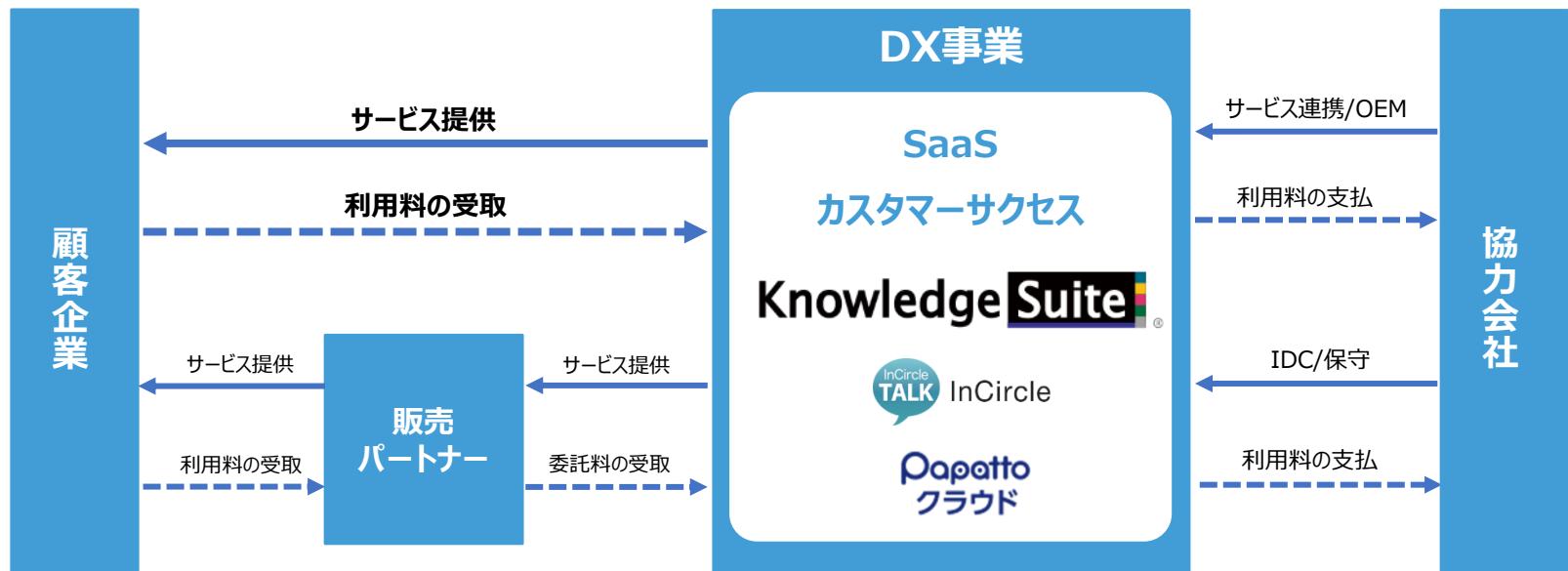
*1 Software as a Serviceの略

*2 Customer Successの略

*3 System Engineering Serviceの略



DX事業の主な収益はSaaSによるサブスクリプションで構成





主力SaaS 純国産クラウド（SaaS） グループウェア・SFA/CRM統合型ビジネスアプリケーション

中小企業にジャストフィット

Knowledge Suite

かんたん
シンプル

オールインワン

ユーザー数
無制限



➤ SFA

➤ 名刺CRM

● メールビーコン
powered by WEB CAS

➤ リードフォーム

➤ グループウェア

その他SaaSビジネスアプリケーション



誰とでもつながる
オンライン商談ツール

VCRM



GPS位置情報を活用した
フィールドナーチャリングCRM

GEOCRM.com



営業リスト作成サービス

Papottoクラウド



ビジネスチャットアプリ

InCircle TALK



プログラミング不要の
開発プラットフォーム

Shelter



ビジネスアプリケーションの
ログインIDを一つに統合

ROBOT ID



デジタルシフト/中小企業DXをセキュアに実現し、企業の生産性向上を推進する SaaSラインナップ



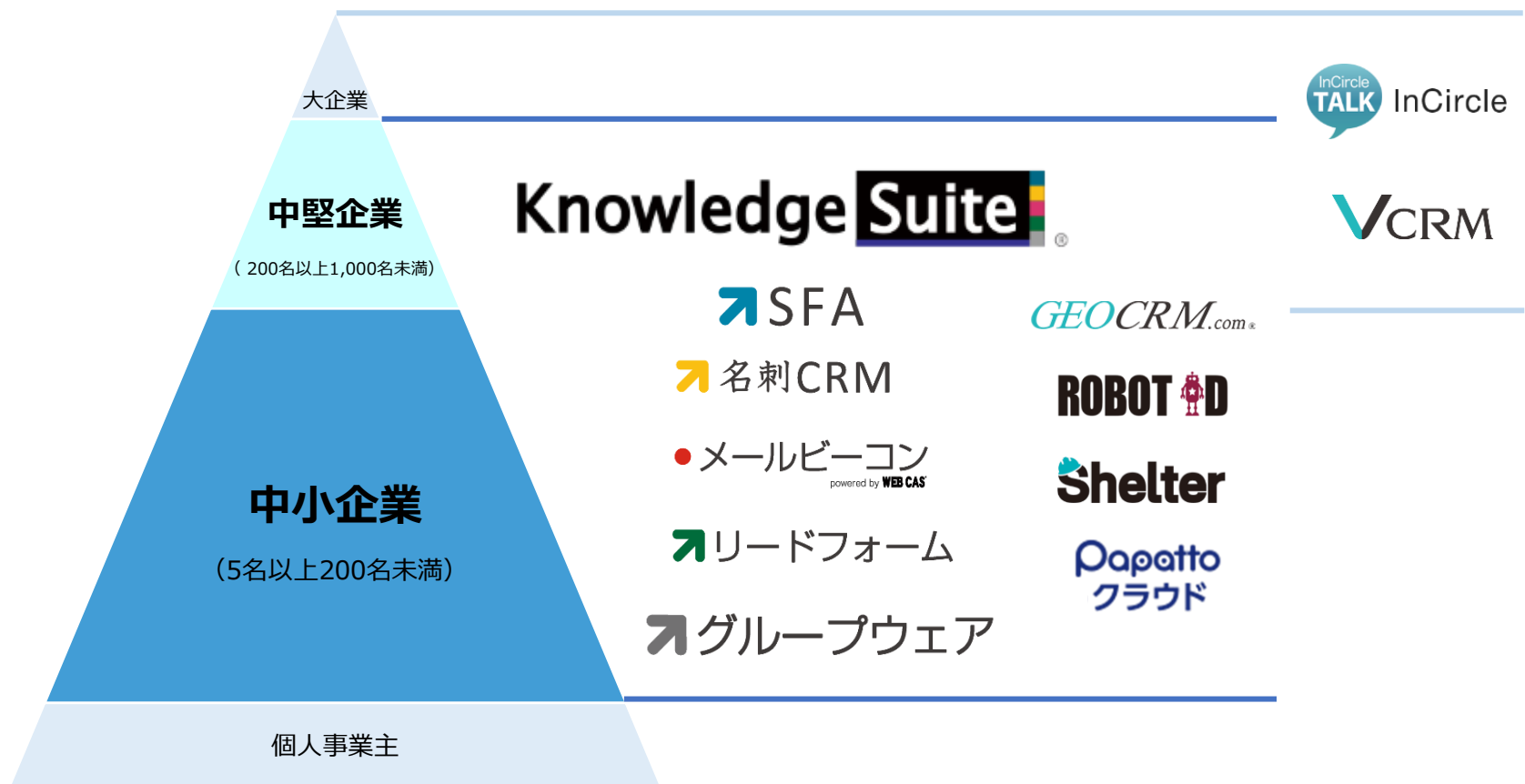


中小企業にジャストフィットした価格帯及びユーザー数無制限のサービス提供

サービス区分	提供サービス	収益構造	価格
SaaS	Knowledge Suite ナレッジスイート	ストックビジネス サブスクリプション型 月額課金モデル	初期費用 0円 ユーザー数 無制限 - グループウェアプラン（容量3GB） 月額6,000円～ - SFAスタンダードプラン（容量5GB） 月額50,000円～ - SFAプロフェッショナルプラン（容量50GB） 月額80,000円～
	VCRM		初期費用98,000円 ユーザー数無制限 月額5,000円/1ルーム
	InCircle		初期費用0円 月額180円/1ユーザー（30ユーザー～）
	GEO CRM		初期費用50,000円 月額1,800円/1ユーザー（10ユーザー～）
	ROBOT ID		初期費用10,000円 ユーザー数無制限 月額1,000円～
	Shelter		初期費用0円 ユーザー数無制限 月額15,000円～
	Papattoクラウド		初期費用0円 ユーザー数無制限 月額20,000円～
CS カスタマー サクセス	導入・運用コンサル	フロービジネス 役務提供型 料金モデル	個別見積り 300,000円～
	基本環境設計・設定		
	運用サポート/研修		

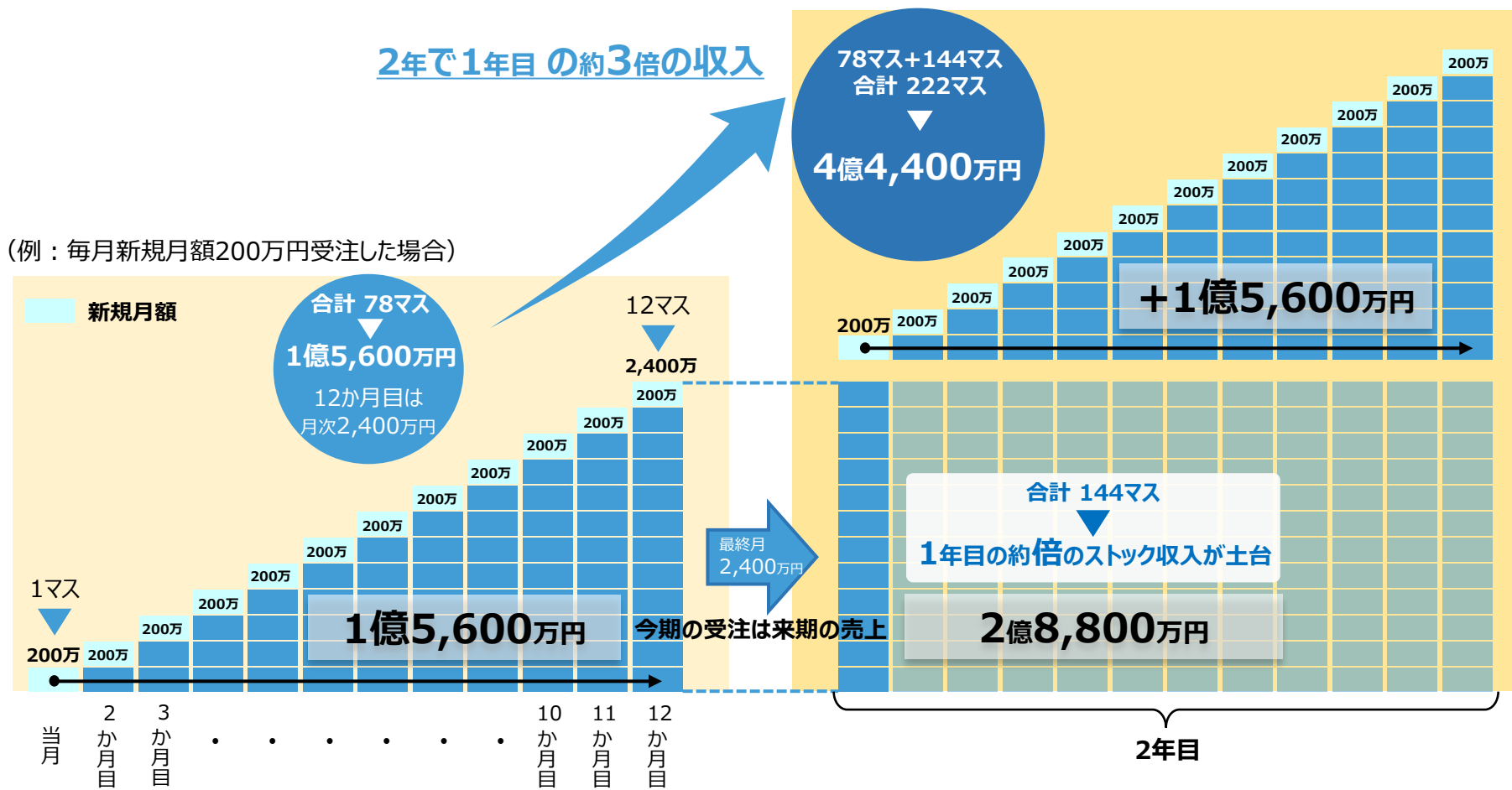


中堅・中小企業からの導入ニーズが大半。一方セキュリティポリシーの高い金融系・医療系大企業からの導入ニーズも含むサービスがジョイン





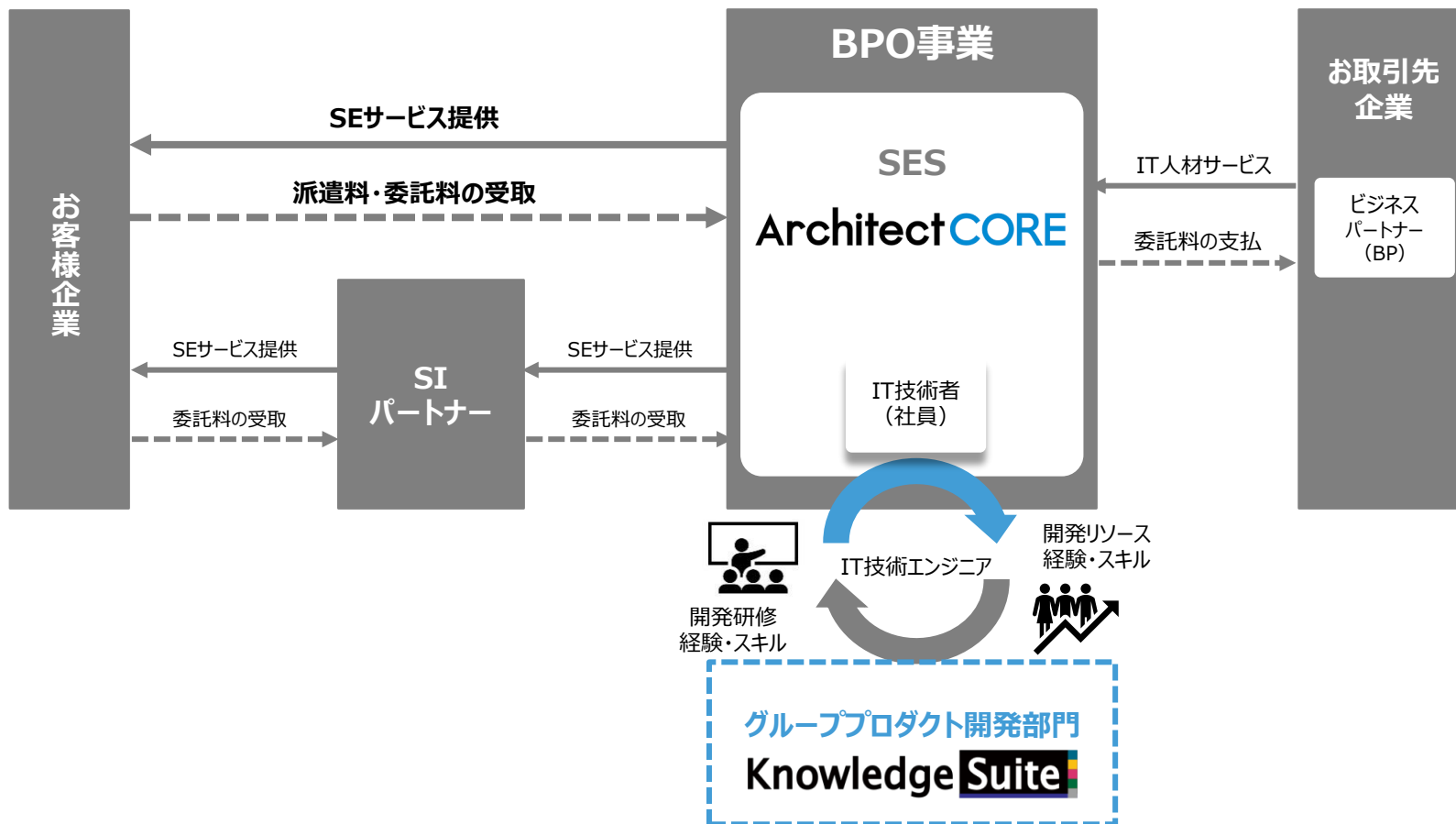
中長期的に安定した収益を生み出し続けるストック型サブスクリプションモデル



新規月額 200万円（1マス）を毎月受注した場合、1年間では1億5,600万円（200万円×78マス）がおおよその新規売上となる。この新規売上が2年目以降は約倍の2億8,800万円（200万円×12マス×12か月）のベースとなる。



BPO事業の主な収益はシステムエンジニアリングサービス（SES）で構成



先進技術やクラウドを駆使したSaaSの開発・運用・保守業務に従事する事で、
需要の高い高度IT技術エンジニアとしての経験値やスキルを獲得

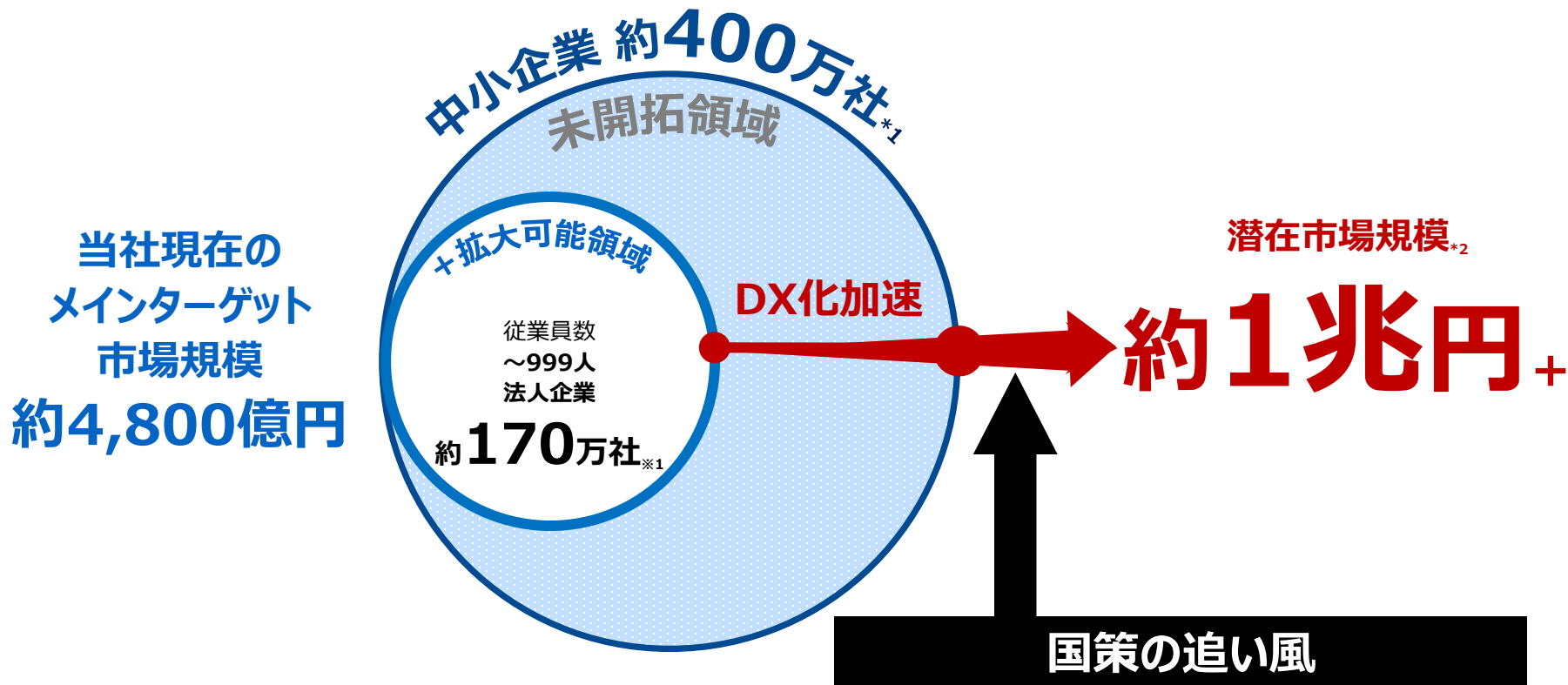


システム開発を主軸とし、長年培ってきたシステム開発ノウハウを保有する
先端 I T 技術者による顧客企業業務支援を行うシステムエンジニアリングサービス

サービス 区 分	提供サービス	サービス内容
SES システム エンジニアリ ングサービス	汎用系、WEB系システム開発・ 運用サービス	顧客企業の基幹系、汎用系システム開発及び運用を中心とし、主にシステム開 発における上流工程（基本設計、詳細設計等のプロジェクト管理）を中心に、 下流工程（コーディング、単体・結合テスト）に至るまでトータルで支援
	インフラ設計・構築・運用サービス	主に金融、官公庁を顧客企業としたネットワーク・サーバ設計、構築、運用保守 の支援を中心に、主にWindows/Linux系のサーバ・ネットワーク構築に係る インフラ設計、運用支援



国策やテレワークの追い風により中小企業のDX化が加速し、開拓余地が拡大



*1 総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査（企業等に関する集計 産業横断的集計）」より引用

*2 当社が想定する潜在市場規模。当社が当資料開示現在で営む事業に係る客観的な市場規模を示す目的で算出されたものではありません。
外部統計資料や公表資料を基礎として、下記*3に記載の計算方法により、当社が推計したものであり、その正確性にはかかる統計資料や推計に固有の限界があるため、実際の市場規模にかかる推計値と異なる可能性があります。

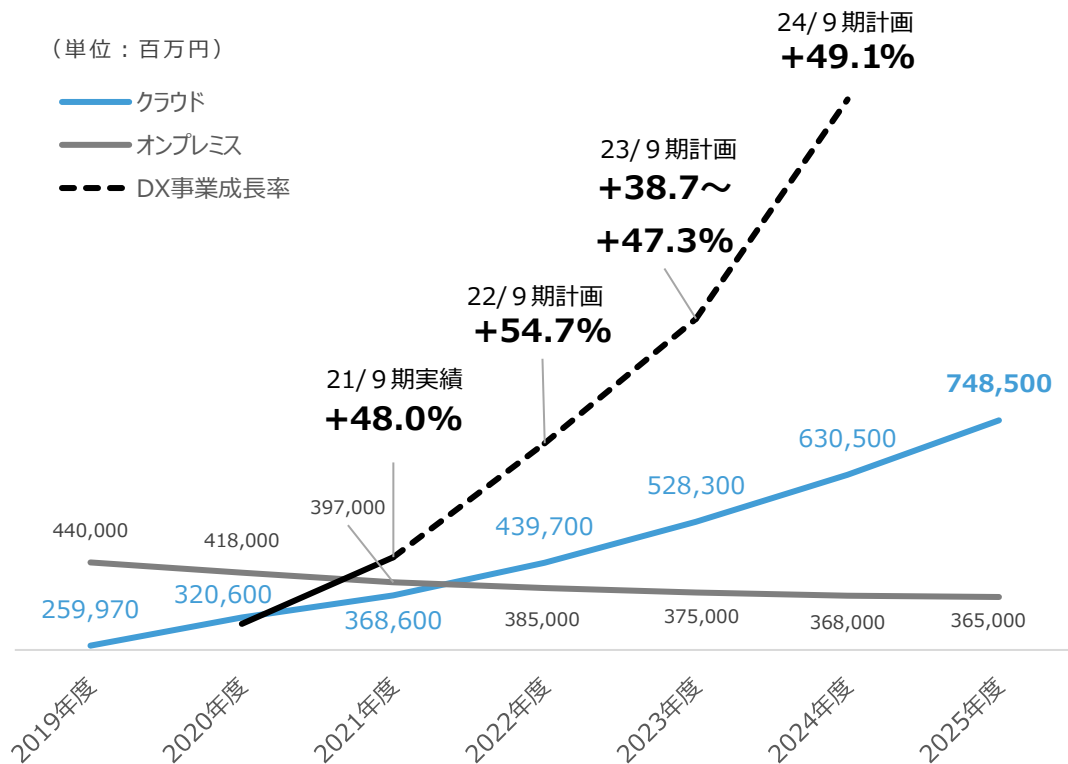
*3 KnowledgeSuite全潜在ユーザー企業数の従業員規模別法人数(*1) × 2021年9月期4Q時点のKnowledgeSuite ARPA
ARPA : Average Revenue Per Accountの略。1契約企業あたりの平均年次経常収益。当社SaaSにおける四半期末時点のARRを契約企業数で除して算出。
ARR : Annual Recurring Revenueの略。年次経常収益。当社SaaSにおける各四半期末時点のMRRの12倍で算出。

- 「デジタル庁」の新設
- 働き方改革推進支援助成金開設（新型コロナウイルス感染症対策のためのテレワークコース）等



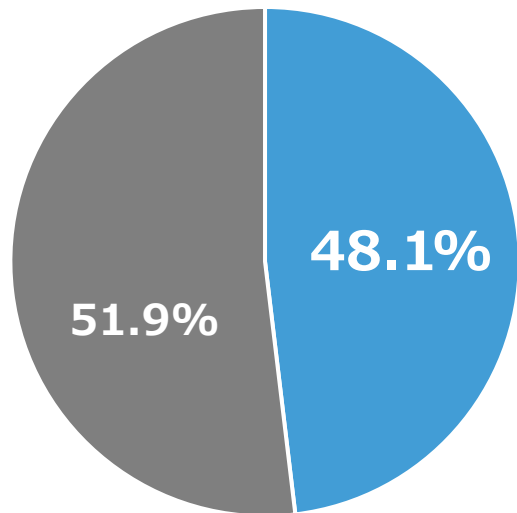
クラウド型CRM総市場は2020年度以降、年平均19.3%市場成長の見通し DX事業におけるYoY売上収益成長率*1は市場成長率を超える成長を目指す

2025年度のクラウド型CRM市場の市場規模は7485億円に拡大見通しであり、引き続き高い成長が見込まれている状況。
2020年度のクラウド型とオンプレミス型の構成比は、48.1%：51.9%となり、構成比が逆転するのは、2022年となる予測。



(出典) ミック経済研究所「マーテック市場の現状と展望2021 <クラウド型CRM市場編>」

■ クラウド
■ オンプレミス



(出典) ミック経済研究所「マーテック市場の現状と展望2021 <クラウド型CRM市場編>」

*1 中期経営計画におけるDX事業売上収益の対前期比増加率。



Technology

技術力

内製に拘り培った、物理的な
HA技術・クラウドネイティブ
技術・高度な先進技術

自社製品の内製に拘り培った技術力。
・主力製品の大規模システムの運用・開発
に必要な物理的なHA技術やデータベース
の最適化技術。
・認証技術、リアルタイムコミュニケーション技
術、クラウドネイティブ技術といった先進技術
・M&Aによりジョインしたプロダクト及びエン
ジニアの連携や交流による技術の共有化。

Product

製品サービス力

独自の料金体系による
価格優位性と純国産・統合型の
かんたんシンプル主力SaaS

初期費用無料、ユーザー数無制限、月額利用
料とオプション機能利用に応じて使った分だけ
課金する独自の収益モデル。
また、純国産・統合型ビジネスアプリケーション
だから簡単に使えて、定着できる。
顧客の成長ともに情報蓄積が促進され、
利用価値が高まる、中小企業にジャストフィット
するSaaS「Knowledge Suite」

Demand Generation

リード獲得力

月間平均約1000件^{*1}届く
問合せの蓄積

新規受注、アップセル・クロスセル、
利用継続、新機能・製品開発につ
ながる新規見込顧客、既存顧客、
販売パートナー等からの声・ご要望
などによるリード生成・獲得件数。

*1 2021年10月から9月末までの1年間に届く全問い合わせ件数の月平均件数。展示会における獲得名刺枚数は除く。



中堅・中小企業向けにジャストフィットする統合型SaaSビジネス アプリケーションがもたらす独自の提供価値

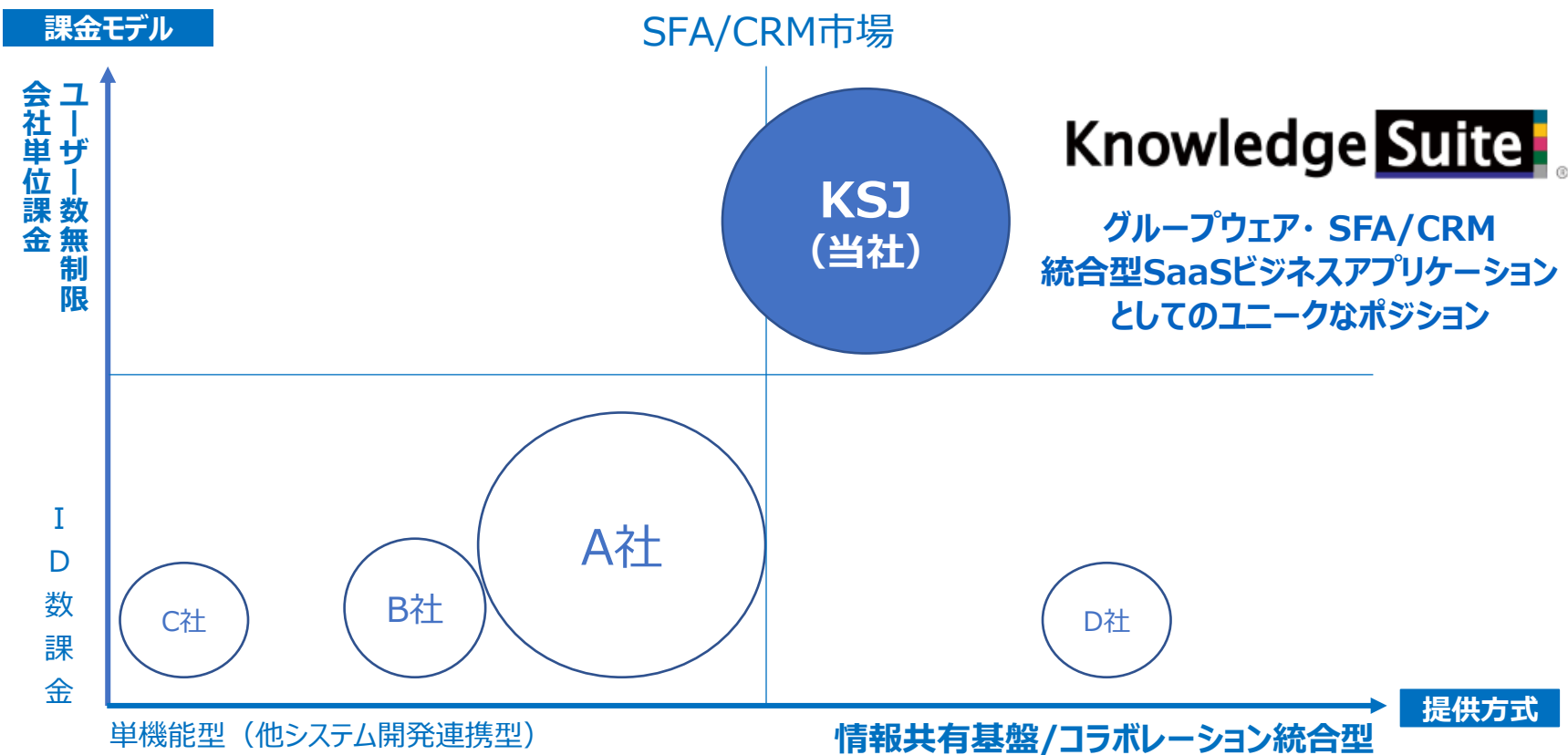
ユーザー数無制限



オールインワン（統合型）



中小企業にジャストフィット





主力SaaS「Knowledge Suite」独自の課金モデル

ユーザー数無制限
 ∞

&

継続課金型
(サブスクリプション)

+

オプション機能課金
(リカーリング)



初期投資なし



かんたん導入

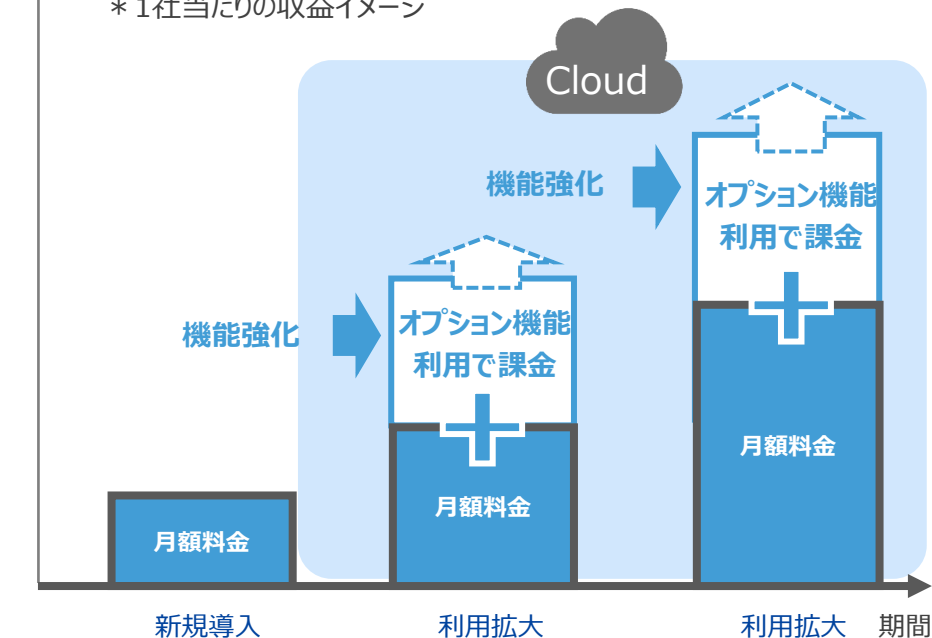


オールインワン

料金

継続的に増加する収益構造

* 1社当たりの収益イメージ





- I. 2022年9月期第1四半期 業績
- II. 2022年9月期 業績予想
- III. 会社概要
- IV. 中期経営計画2024**
- V. APPENDIX



高い成長性が継続する D X 事業への選択と集中を図り、
販売体制強化および製品サービス開発強化への先行投資を継続
中小企業DX化の推進を加速していく

成長戦略 ①

事業の収益（シェア）拡大

施 策

契約件数の拡大

・営業100名体制の実現

契約あたりの売上単価拡大

・カスタマーサクセス体制の整備

成長戦略 ②

プロダクト・サービス強化

施 策

契約継続率の向上

・新規プロダクトの開発/M&Aによるサービス拡充



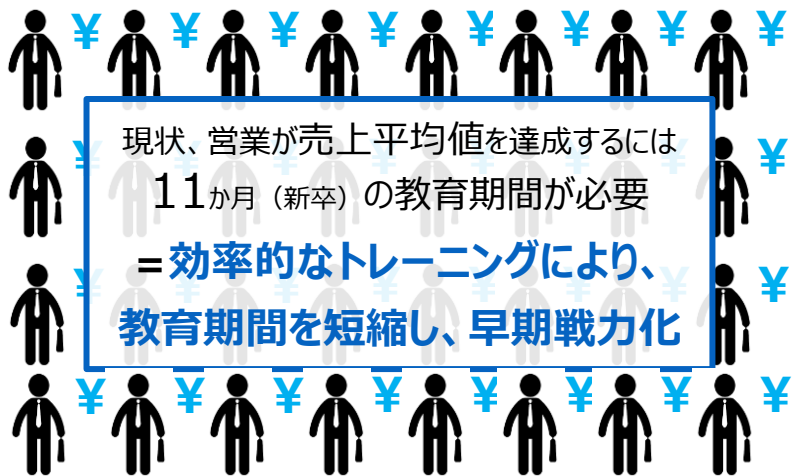
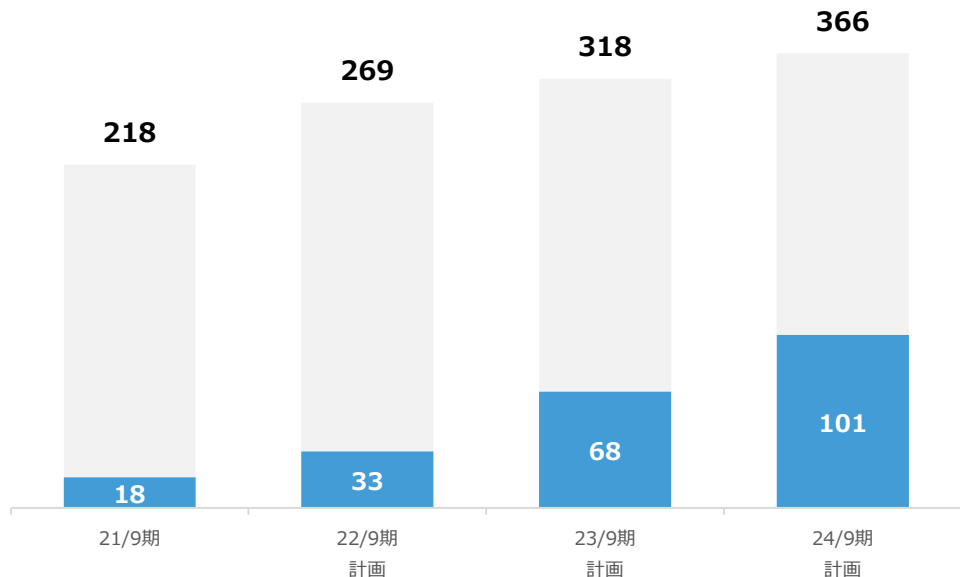
契約件数の拡大

毎期営業人員20名以上を採用・増員し、2024年9月期までに
営業稼働数*1 100名体制を実現。契約企業件数及び売上収益を拡大する

- 展示会出展やテレアポなど、営業リソースに比例してリード獲得数が増加するマーケティングチャネルの強化
- リード獲得から案件化するまでのプロセスにおけるソリューション提案およびクロスセル機会創出の体制強化
- 新規契約件数の拡大とカスタマーサクセスへのエスカレーション連携強化による利用促進やクロスセル体制強化

営業増員（稼働数）計画

■ 営業（2年目以降） ■ エンジニア他

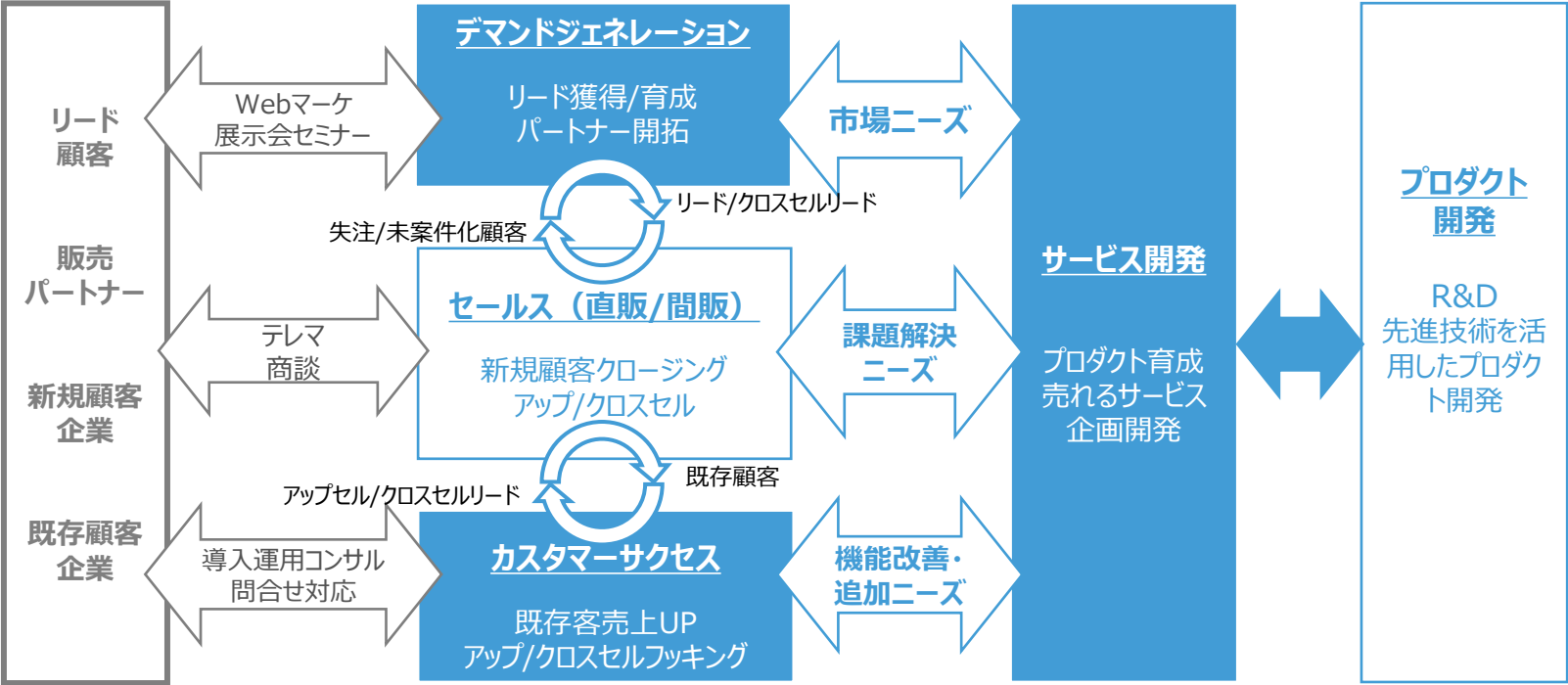


*1 営業稼働数とは当社で約1年の営業教育・営業活動経験を積んだ（入社2年目以降の）営業人員。当社営業社員（新卒）は、11か月の教育期間を経て、1人あたりの売上平均値を獲得するようになる。
新卒採用を開始した2014年から2021年9月末現在まで7年間の当社新卒営業社員のトラッケレコードより算出。



契約あたりの売上単価拡大

カスタマーサクセス体制における役割を明確化・連携することで顧客ニーズに合わせた
プロダクトへのクロスセル機会創出を可能とし、営業メンバーとの連携強化により、
既存顧客の運用課題に合わせたクロスセルによる契約を拡大する

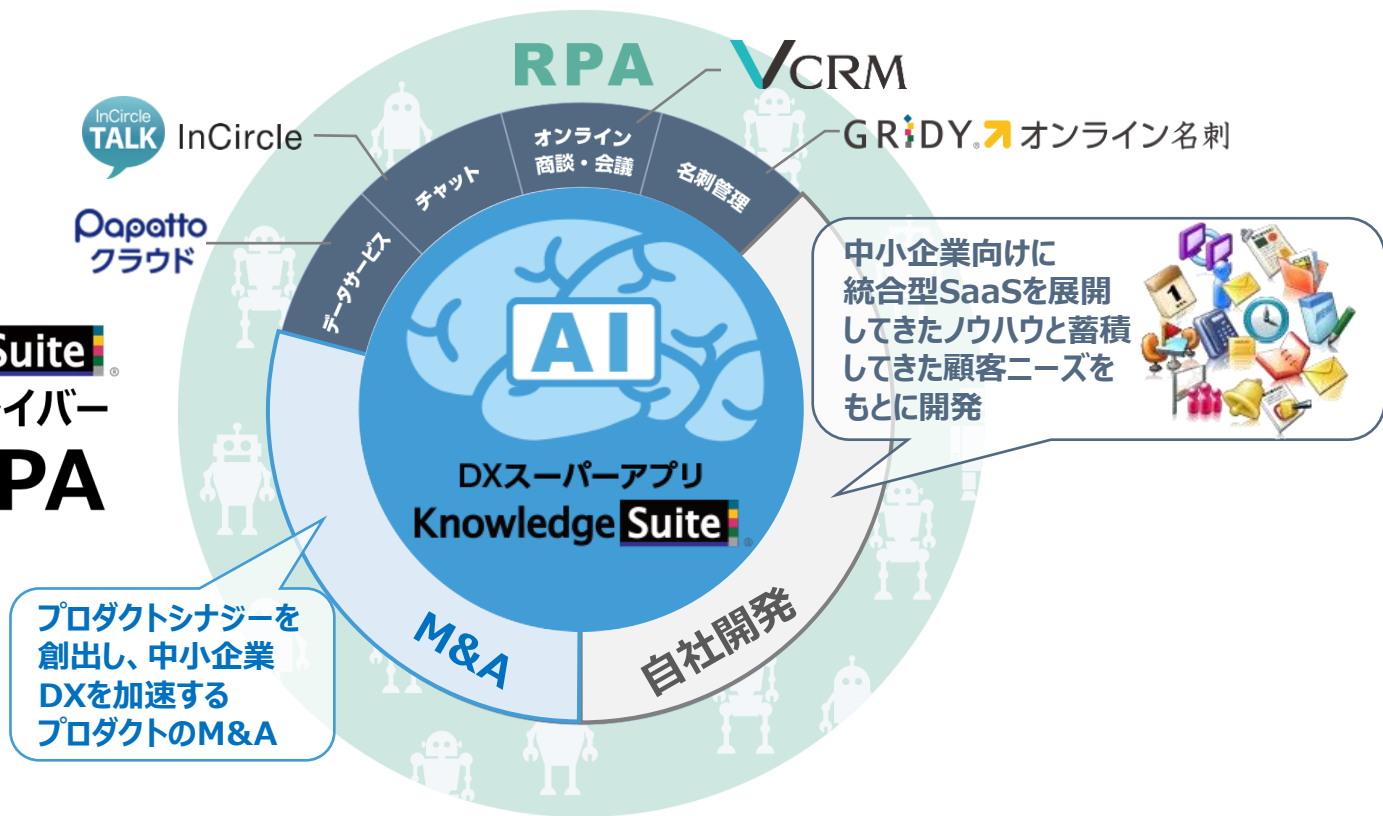




契約継続率の向上

自社開発またはM&Aによる「Knowledge Suite」を中心とした新プロダクト・サービスを拡充し、収益基盤の強化を図る

次世代 Knowledge Suite
意思を持ったデジタルレイバー
AI × RPA



企業ビジョン実現に向け、**営業社員1人1人に寄り添う意思を持った（AI）デジタルレイバーを中心とした営業活動の自律化・業務の自動化**を強力に推進する世界の実現を見据えた「次世代 Knowledge Suite」との統合連携を視野にいたした製品開発を進める



営業CFから 10億円を配分（3か年）		財務CFから 3億円を配分（3か年）
営業利益率 10%	ROE 10%	ファイナンス



DX事業への成長投資 13億円			
成長戦略	期待する効果	重点施策	投資額
収益（シェア） 拡大	安定した収益基盤の確立	- 営業人員採用 - カスタマーサクセス人員育成 - マーケティング投資	5億円
プロダクト強化	新たな収益基盤の創出	- 新KnowledgeSuite開発投資 - 事業シナジーM&A投資	8億円



中長期戦略

事業利益の最大化を図り営業利益 10%超を目標

投資戦略

成長投資における投下資本の効率性に配慮

M&A戦略

成長投資でM&Aを選択する場合は事前評価を適切に実施

- EV/EBIDA倍率
- ROI
- 事業シナジー

中長期BSマネジメント

中長期BSマネジメントによる

- 財務体質の健全化
- 資本コストの低下



中期経営計画の達成

企業価値の向上 = 株価上昇を優先

**事業利益の最大化をはかり
ROE 10%超を目標に長期的な株価上昇をめざす**

株主還元 基本方針

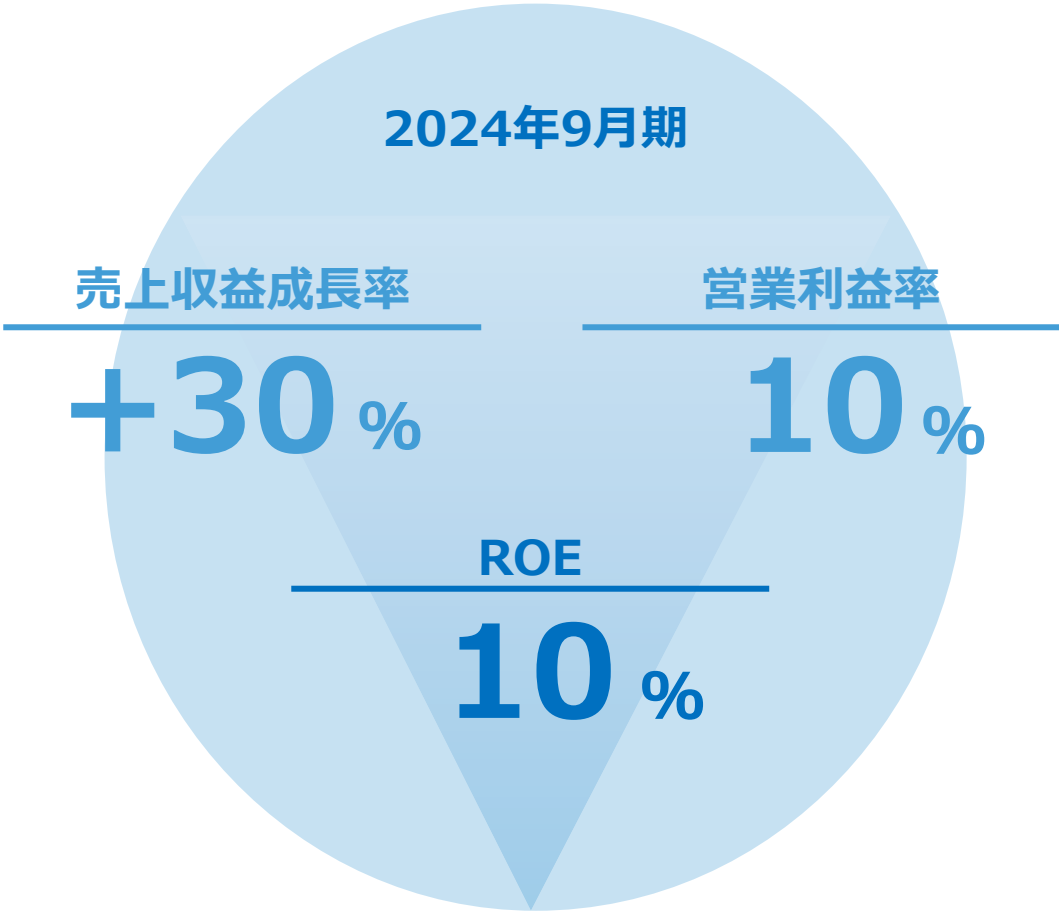
キャピタルゲインによる株主還元が充分実現されたタイミングでの配当を目指す

- 中期経営計画達成を最優先
- キャピタルゲインによる株主還元が充分実現されたタイミングでの配当を実現
- 配当性向30%目標

※株式の流動性を配慮し、市場との丁寧な対話を実施



経営上の目標達成状況判断のための客観的な指標として、
売上収益の成長率、営業利益率、ROEを重視

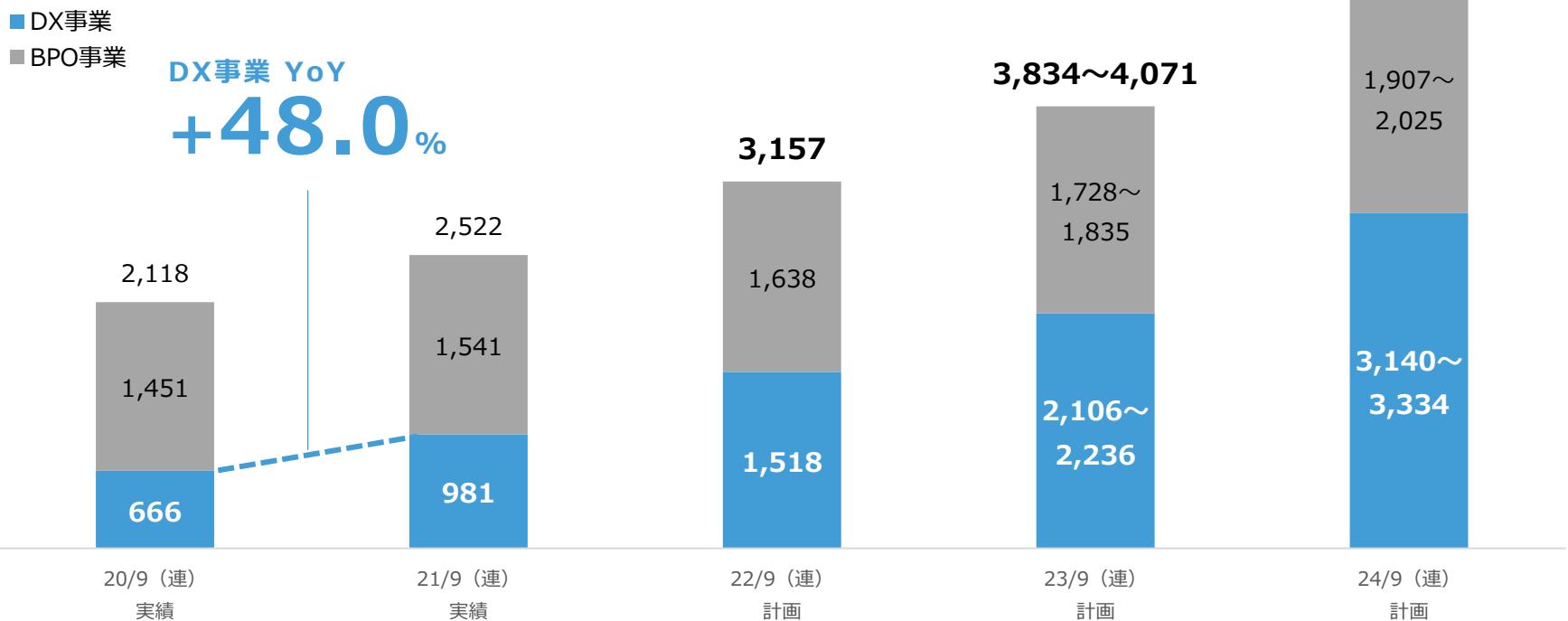




中期売上計画方針

- DX事業が大きく伸長しており、21/9期はYoY **+48.0%**により高成長を牽引
- **DX事業への選択と集中**を図り、**販売体制強化及び製品サービス開発強化への先行投資**を継続
- 24/9期に**連結売上収益YoY+30%**を達成すべく、**営業100名体制を実現**。また**CS体制整備**及び**自社開発/M&Aによる新プロダクト・サービス拡充**により、「過年度 1契約あたり単価（ARPA）」及び「過年度 解約率（ChurnRate）」の水準維持・向上を図り、売上収益を拡大

（単位：百万円）



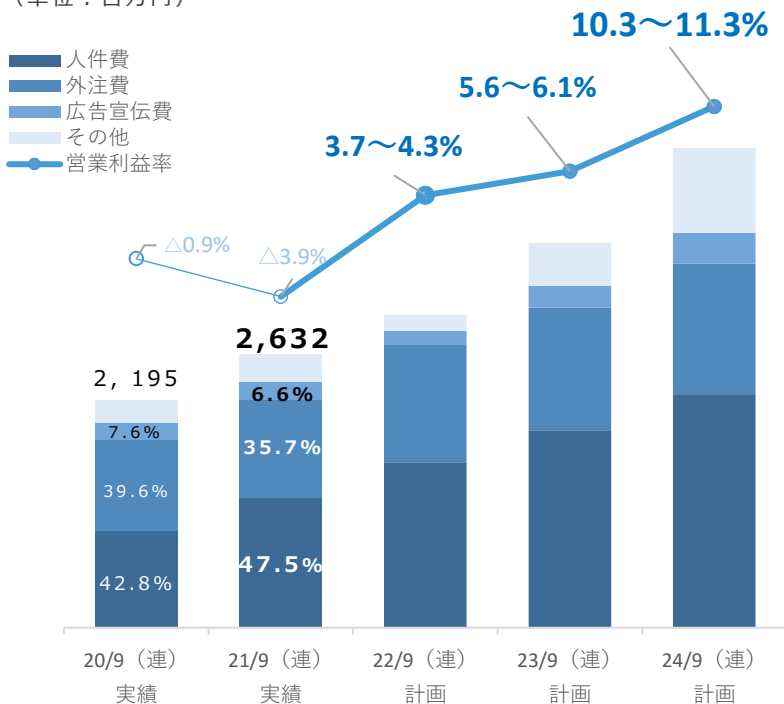


中期利益計画/前提条件

- BPO事業のSES案件にて、プロジェクト入れ替わりによる外注エンジニア稼働増加により、21/9期は営業利益率が悪化
- **積極的な人材投資（営業、カスタマーサクセス、プロダクト開発）**を継続しつつ中長期的な収益を拡大し、24/9期に**営業利益率10%**を実現
- マーケティング施策の選択と集中を行い、**見込み顧客獲得の広告宣伝を効率化。月間見込み顧客獲得 約800件 + 効率的な広告宣伝活動により受注効率の最大化を図る** ※20/9期・21/9期に実施したTVCMによる広告宣伝は一巡

営業利益率及びコスト計画

（単位：百万円）



コスト計画/前提条件

営業及びカスタマーサクセス強化を目的に、新卒営業人員を毎期20名以上を採用増員し、営業100名体制を実現するための人件費を毎期同水準で計画

新規プロダクト開発のための開発人員の増員による開発人件費・外注費を+72~84百万の水準で毎期増加を計画

費用対効果を重点においたSaaSプロモーションに係る広告宣伝費を売上計画の1割上限と見込む

在宅勤務率50%。オンライン商談による出張費抑制により、旅費交通費を5割削減

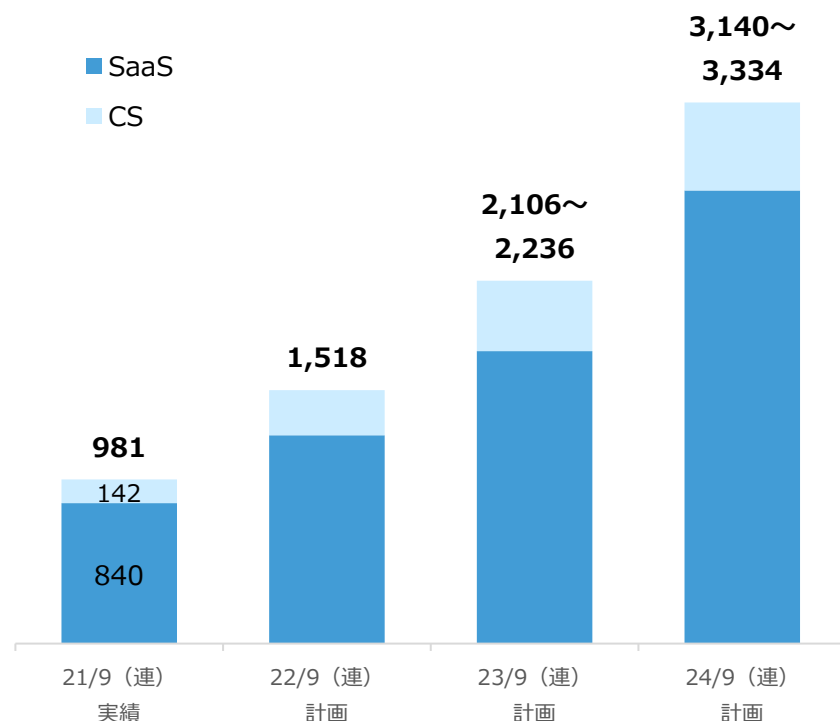
高手数料のエージェント採用から費用対効果の高いリファラル採用・新卒採用にシフトし、一人当たり採用コストを抑制

中期DX事業売上計画方針

- 営業人員先行投資を継続。新卒営業の教育体制の整備を図り、100名体制へ
- 将来収益（LTV）向上へ向けたカスタマーサクセス体制の整備と強化を推進
- ビジネスチャット・企業データサービス等、新規サービスの製品ラインアップを強化し、ARPAを向上

中期DX事業売上計画

（単位：百万円）

■ DX営業人員の採用・育成

営業稼働人数に1人当たり平均受注単価を乗じた新規契約増額。入社2年目で戦力化。

■ カスタマーサクセス体制強化

<利用促進>

過年度解約率を前月既契約総額に乘じた解約減額、過年度傾向から算出したアップ/ダウンセル純増額

<導入支援>

SaaS受注企業に対し月間平均付帯率と過去実績に伴う平均受注単価を乗じて算出

<データサービス>

過前期末受注残、継続案件と引合中の新規案件に過去の受注確度を勘案して算出

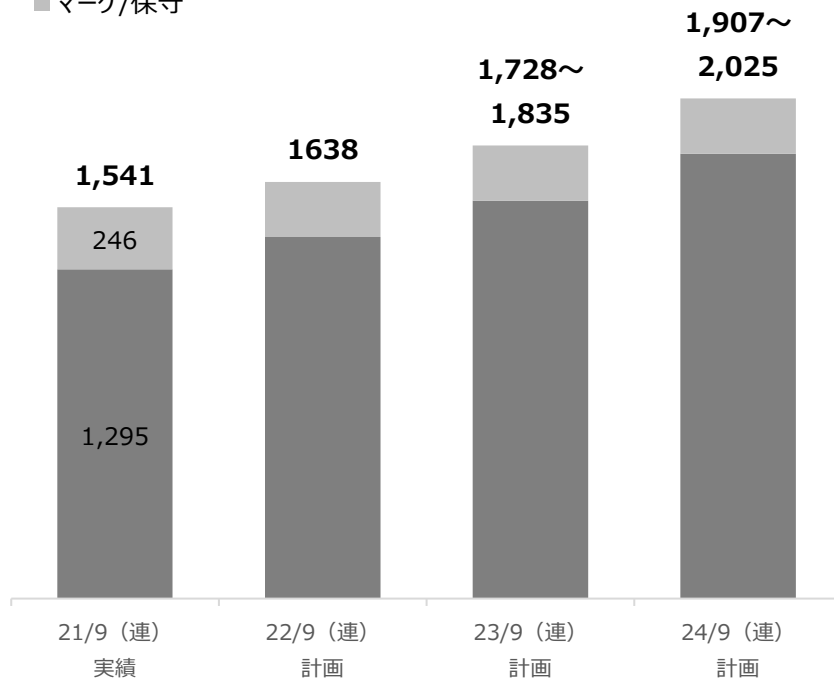
中期BPO事業売上コスト計画方針

- 新規顧客の拡大とプロジェクトによるSES売上高+10%増収を目指す
- 単価引き上げ、及び稼働時間の適正化による利益率改善を図る
- グループの新規プロダクト開発において先端 I T 技術者によるグループシナジーによりスケールメリットを図る

中期BPO事業売上計画

(単位：百万円)

- SES
- マーケ/保守

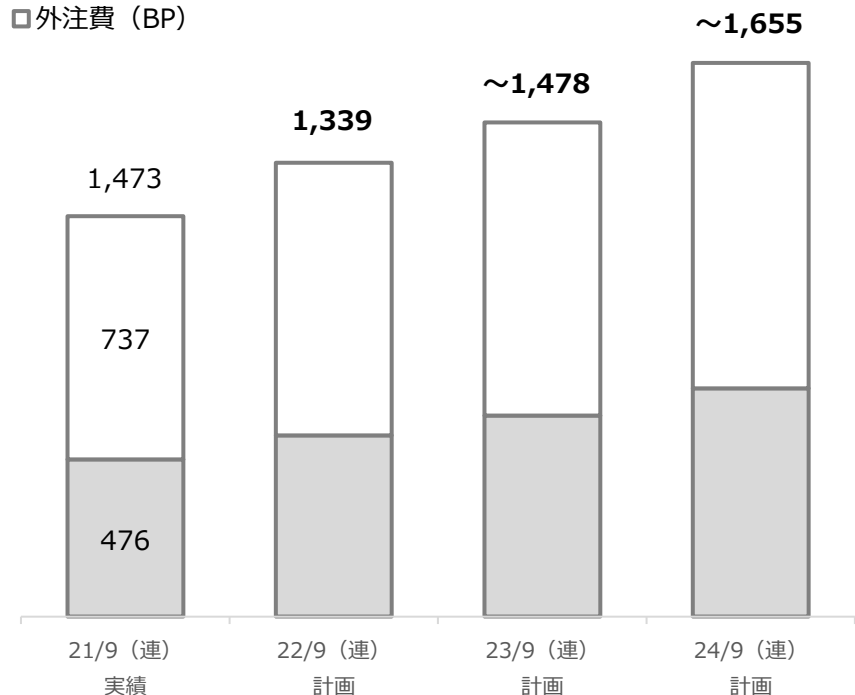


BPO事業SESコスト想定

(単位：百万円)

(SES事業)

- 人件費 (社員)
- 外注費 (BP)





中期経営計画達成に向けた先行投資を継続するため、
より有用かつ合理的な情報提供を行う観点からレンジ方式を採用
なお22/9期はM&Aの実施を予定しておりません

連結 IFRS	21/9 実績	22/9 計画	23/9 計画	24/9 計画
売上収益	2,522 百万円	3,157 百万円	3,834 ~ 4,071 百万円	5,048 ~ 5,360 百万円
YoY	+19.1 %	+25.2 %	+21.5 +29.0 %	+31.6 %
DX	981 百万円	1,518 百万円	2,106 ~ 2,236 百万円	3,140 ~ 3,334 百万円
YoY	+48.0 %	+54.7 %	+38.7 ~ +47.3 %	+49.1 %
BPO	1,541 百万円	1,638 百万円	1,728 ~ 1,835 百万円	1,907 ~ 2,025 百万円
YoY	+6.2 %	+6.3 %	+5.4 ~ +12.0 %	+10.4 %
営業利益	△108 百万円	117 ~ 136 百万円	213 ~ 249 百万円	517 ~ 604 百万円
利益率	– %	3.7 ~ 4.3 %	5.6 ~ 6.1 %	10.3 ~ 11.3 %

A blurred photograph of a modern office hallway with glass partitions and warm lighting. The hallway leads into the distance, with light reflecting off the glass surfaces.

Knowledge Suite